

第5次高砂市総合計画 実施計画(行政経営プラン) 令和7年度

1 基本的な項目

(1)策定時期

令和7年4月

(2)対象期間

令和7年度から令和9年度まで

(3)策定根拠

実施計画

・高砂市総合政策に関する条例第3条第5項

市長は、総合計画のうち実施計画を策定しようとするときは、基本計画に基づいて行うものとする。

行政経営プラン

・高砂市総合政策に関する条例第5条

市長は、総合計画を推進するため、行政経営プランを策定するものとする。

2 重点評価指標

基本目標の達成に向けて基本計画に取り組むことで改善すると考えられる指標のうち、重点的に注目する指標を「重点評価指標」として設定し、目標値として望ましい値を設定します。

(1)前期基本計画の重点評価指標

No.	項目	統計名	現状値	目標値
1	総人口	兵庫県 推計人口	令和3年10月 87,020人	令和7年10月 85,795人
2	人口千人あたり出生数	兵庫県 市区町別主要統計 指標	令和元年 6.49 (591人)	令和7年10月 7.62 (654人)
3	転出超過者数	総務省 住民基本台帳 人口移動報告	令和2年 305人	令和7年まで年平均 0人
4	市内事業所の 従業者数	経済センサス	平成28年 46,197人	令和7年直近調査 46,200人
5	高砂市が住みよいまち と思う人の割合	市民満足度調査	令和3年 67.7%	令和7年直近調査 80%
6	SDGsの取組を実践し ている人の割合	市民満足度調査	令和3年 32.8%	令和7年直近調査 50%
7	公共施設の延床面積 縮減率	高砂市 施設別カルテ	令和元年度末 8.20%	令和7年度末 6.80%

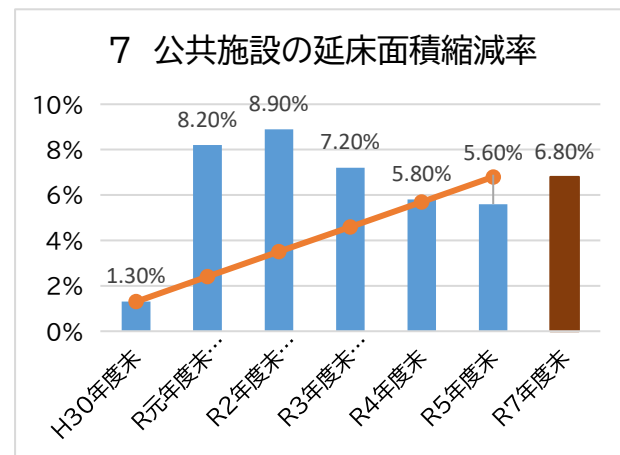
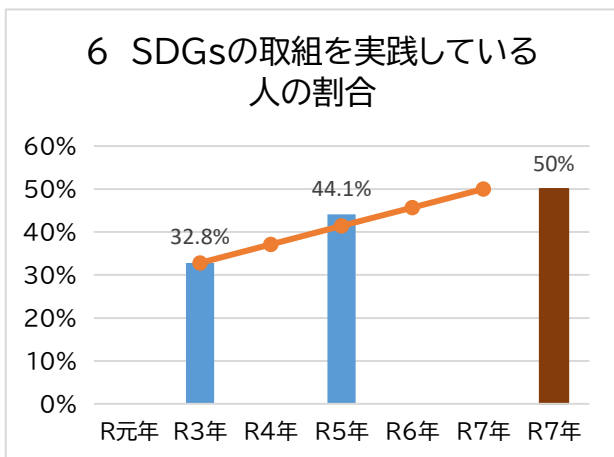
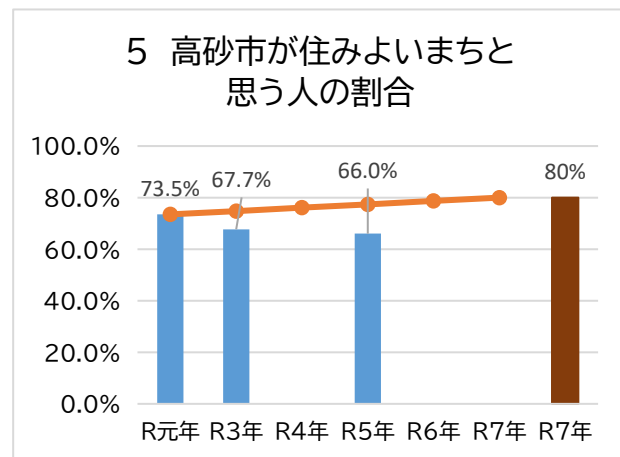
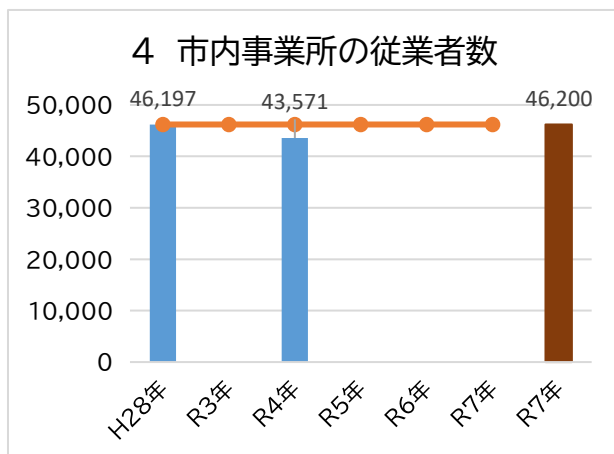
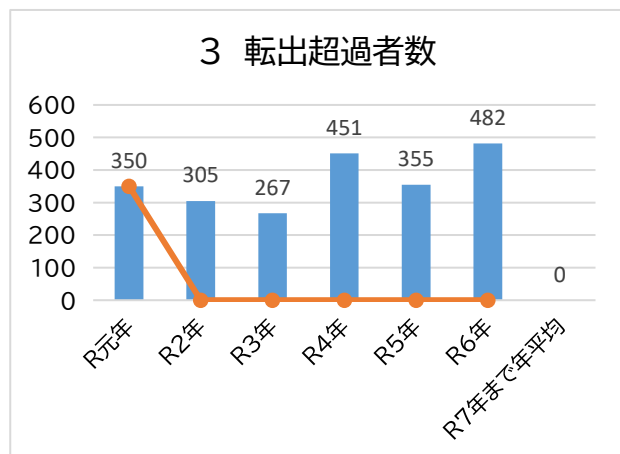
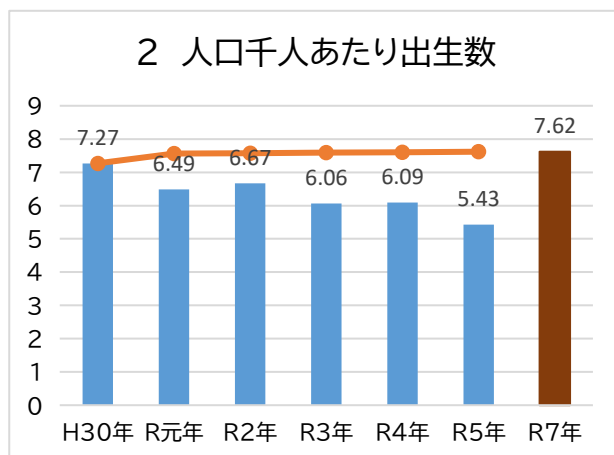
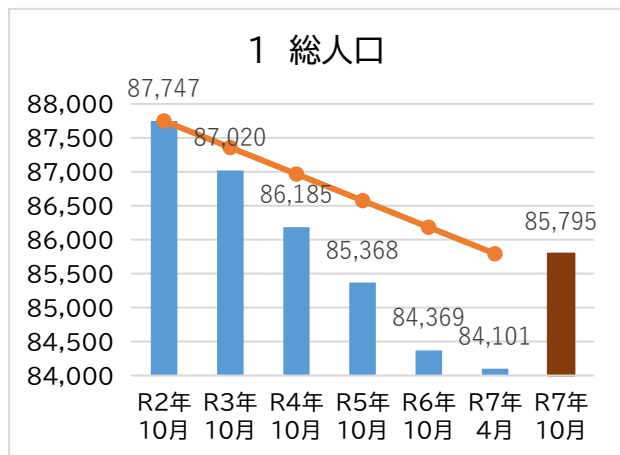
(2)実績値の推移

No.	項目	R2年度調査	R3年度調査	R4年度調査	R5年度調査	R6年度調査	R7年度調査	目標値
1	総人口	R2年 10月 87,747	R3年 10月 87,020	R4年 10月 86,185	R5年 10月 85,368	R6年 10月 84,369	R7年 4月 84,101	R7年 10月 85,795
2	人口千人 あたり出 生数	H30年 7.27 (662人)	R元年 6.49 (591人)	R2年 6.67 (585人)	R3年 6.06 (532人)	R4年 6.09 (534人)	R5年 5.43 (476人)	R7年 7.62 (654人)
3	転出超過 者数	R元年 350	R2年 305	R3年 267	R4年 451	R5年 355	R6年 482	R7年まで年平均 0
4	市内事業 所の従業 者数	H28年 46,197	R3年 -	R4年 43,571	R5年 -	R6年 -	R7年 -	R7年 46,200
5	高砂市が 住みよい まちと思 う人の割 合	R元年 73.5%	R3年 67.7%	R4年 -	R5年 66.0%	R6年 -	R7年 調査予定	R7年 80%
6	SDGsの 取組を実 践してい る人の割 合	R元年 -	R3年 32.8%	R4年 -	R5年 44.1%	R6年 -	R7年 調査予定	R7年 50%
7	公共施設 の延床面 積縮減率	H30年度末 1.30%	R元年度末 ※ 8.20%	R2年度末 ※ 8.90%	R3年度末 ※ 7.20%	R4年度末 5.80%	R5年度末 5.60%	R7年度末 6.80%

※高砂市美化センターの解体後の縮減率であり、令和4年度に新設した東播臨海広域クリーンセンターの面積を含んでいません。

(3)実績値のグラフ化

折れ線は目標値達成のライン



3 国の「デジタル田園都市国家構想総合戦略」の策定に伴う対応

国において令和4年12月に従来の第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を改訂し、デジタル技術を地方の社会課題解決の鍵として「全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会」を目指す「デジタル田園都市国家構想総合戦略」が閣議決定されました。
本市においても、今後はデジタルの力を活用しながら総合計画を推進していくことが重要であるため、本市の総合計画、総合戦略と整合しながら、デジタルの力を活用した地方創生の取組を加速化・深化していきます。

(1) 「デジタル田園都市国家構想総合戦略」の概要

【デジタル田園都市国家構想総合戦略の基本的な考え方】

- ・デジタルの力を活用して地方創生を加速化・深化し、「全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会」を目指す。
- ・東京圏への一極集中の是正や多極化を図り、地方から全国へとボトムアップの成長を推進。
- ・デジタル技術の活用について、各地域の優良事例の横展開を加速化。
- ・これまでの地方創生の取組も、蓄積された成果や知見に基づき改善を加えながら推進。

【デジタル田園都市国家構想総合戦略の施策の方向】

デ ジ タ ル の 社 会 問 題 解 決 に 活 用 し た	1 地方に仕事をつくる スタートアップ・エコシステムの確立、中小・中堅企業DX(キャッシュレス決済、シェアリングエコノミー等)、スマート農林水産業・食品産業、観光DX、地方大学を核としたイノベーション創出 等
	2 人の流れをつくる 「転職なき移住」の推進、オンライン関係人口の創出・拡大、二地域居住等の推進、地方大学・高校の魅力向上、女性や若者に選ばれる地域づくり 等
	3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる 結婚・出産・子育ての支援、仕事と子育ての両立など子育てしやすい環境づくり、こども DX 等のデジタル技術を活用した地域の様々な取組の推進 等
	4 魅力的な地域をつくる 教育DX、医療・介護分野におけるDX、地域交通・インフラ・物流DX、まちづくり、防災・減災、国土強靱化の強化等、地域コミュニティ機能の維持・強化 等

デジタル実装の基礎条件整備

地方のデジタル実装を下支え

1 デジタル基盤の整備

デジタルインフラの整備、マイナンバーカードの普及促進・利活用拡大、データ連携基盤の構築、エネルギーインフラのデジタル化 等

2 デジタル人材の育成・確保

デジタル人材育成プラットフォームの構築、職業訓練のデジタル分野の重点化、高等教育機関等におけるデジタル人材の育成、デジタル人材の地域への還流促進、女性デジタル人材の育成・確保 等

3 誰一人取り残されないための取組

デジタル推進委員の展開、デジタル共生社会の実現、経済的事情等に基づくデジタルデバイドの是正、利用者視点でのサービスデザイン体制の確立 等

【参考 第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標】

基本目標

- 1 稼ぐ地域をつくるとともに、安心して働けるようにする
- 2 地方とのつながりを築き、地方への新しいひとの流れをつくる
- 3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- 4 ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる

(2) 総合計画等との関係性

第5次高砂市総合計画(2021～2030年度)

第5次総合計画・前期基本計画(2021～2025年度)

市の目指す将来像にたどり着くための、すべての行政施策を管理・推進する最上位の計画

高砂市まち・ひと・しごと創生総合戦略(第2期)(2021～2025年度)

総合計画基本計画の中から、人口減少への対応や地域の魅力向上を目的とする政策を抽出した計画(基本計画政策番号1-1、1-2、2-1、2-3、3-1、3-3)

総合計画と総合戦略の
連動実施

高砂市DX推進ビジョン

デジタル化の推進

地域の個性を生かしながらデジタルの力によって地方創生の取組を加速化・深化させることを目的とした「デジタル田園都市国家構想総合戦略」の方向性を勘案し、本市におけるDX推進の考え方を示した「高砂市DX推進ビジョン」に沿ってデジタル化を推進していく。

高砂市DX推進ビジョンでの重点取組

1 行政手続きをかえる／行政サービスのデジタル化

デジタルはコミュニケーション手段のツールであり、市民と市のコミュニケーションをより一層スムーズに進めるため、デジタル市役所を目指します。

2 仕事と業務プロセスをかえる／バックオフィスのデジタル化

DX推進体制の構築及びデジタル人材育成の推進を行い、ICTツール活用による市民サービス向上と事務の効率化を行います。また、データの収集・分析とデータを活用した政策立案を行います。

3 やさしさと幸せにかえる／新しい価値をかなえるデジタル化

デジタルデバйд対策を行い、全ての人に必要な情報が届けられるとともに、地域社会のデジタル化や市民等へのデータの利活用を促進し、新しい価値の創出を支援します。

(3) デジタルの力を活用した地方創生の取組

①行政手続きをかえる／行政サービスのデジタル化

市民へ発信する行政からの情報を、広報のデジタル化や、たかさごナビ等のデジタルの力で正確にかつ迅速に伝え、市民サービスの向上を図ります。

【関連する取組】

政策番号	取組No.	取組内容
4-3①	4311	伝わる戦略的広報の推進
4-3①	4312	災害情報伝達の確保

電子申請や公金収納のキャッシュレス化を促進することで、来庁の必要性を低減し、行政手続きにおける市民の利便性の向上を図ります。

【関連する取組】

政策番号	取組No.	取組内容
4-3③	4332	行政手続きのデジタル化

②仕事と業務プロセスをかえる／バックオフィスのデジタル化

既存業務の見直しを行うことで、AIやRPAなどのICTツールを活用し市職員の業務量を削減します。

【関連する取組】

政策番号	取組No.	取組内容
4-3②	4321	ICTツールの活用による職員数と業務時間数の縮減
4-3②	4323	文書管理の適正化

③やさしさで幸せにかえる／新しい価値をかなえるデジタル化

日常生活における様々な分野でデジタル化によるデータを活用することで、新たな人がつながる機会を創出し、地域課題の解消を図ります。

【関連する取組】

政策番号	取組No.	取組内容
4-3③	4331	地域情報化の推進

地理情報などのデジタルデータを活用し、既存資源のブランド化等の新たなサービスを創出し、地域経済の活性化を目指します。

【関連する取組】

政策番号	取組No.	取組内容
4-3③	4331	地域情報化の推進

4 行政改革

これまでの行政改革は、行政組織の効率化と経費節減が中心でした。行政需要が高まり、経営資源が制限されるなか、質の高い公共サービスを維持する必要性が求められています。

目的 人口が減少しても、市民生活を支え、持続する行政運営を目指す

公共施設マネジメントの推進

単なるコスト削減ではなく、住民サービスの質を維持・向上させながら、持続可能な地域社会を構築するための公共施設マネジメントを目指す。

DX推進による業務の効率化、コスト削減

単なるIT化を超え、「仕組み」や「業務プロセス」そのものを見直し、より効率的かつ透明性の高い行政運営を目指す。

市民協働の推進による地域課題の解決や行政サービスの改善

市民の身近な課題を、行政と市民、企業それぞれの特性を最大限に活かして解決に取り組む協働スタイルへの転換を目指す。

行革項目

取組No.	事業名称	部
1224	学校のあり方検討事業	教育部
1233	部活動地域展開	教育部
1523	高砂市民病院の将来構想の推進	政策部
1523	持続可能な経営基盤の確立	市民病院事務局
2512	地域見守り活動支援事業	総務部
3211	補助金交付による自治会の活動支援	市民部
3212	地域交流センター運営協議会の活動支援	市民部
3213	地域交流センター整備事業	市民部
3221	市民提案型地域協働推進事業	市民部
3222	アダプトプログラム推進事業	市民部
4111	時間外縮減	総務部
4122	職員研修の実施	総務部
4211	公共施設最適化計画の推進	政策部
4321	ノーコード・ローコードツールの活用推進	政策部
4323	文書管理の適正化	総務部
4331	デジタル地域ポイント事業	政策部
4332	行政手続きのオンライン化の推進	政策部
4332	コンビニ交付サービスの利用促進	市民部
4332	マイナンバーカード出張申請受付	市民部
4332	QRコード決済導入事業	会計課
4333	自治体情報システムの標準化・共通化の推進	政策部
4411	持続可能な財政運営のための予算編成	財務部
4423	市有財産の売却及び利活用	財務部
4433	企業版ふるさと納税の推進	政策部

5 重点取組

重点評価指標の目標値を達成するために、令和7年度予算において柱施策を設定します。

暮らしたくなるまち(移住の促進)

(1) 快適で住みよい住環境の整備

JR曾根駅周辺整備事業

連続立体交差推進事業

電力地産地消事業

省エネ家電買替補助(地球温暖化対策推進事業)

高砂市野球場改修工事(体育施設整備事業)

自転車道等整備事業

デジタルサイネージ設置(交通安全対策事業)

市ノ池・高御位山観光ルートの試験運行(コミュニティバス運行事業)

移住支援の拡大(移住・定住・若者推進事業)

住み続けたくなるまち(居住の定着)

(2) 健康で元気に暮らせるまちづくり

歯周疾患検診事業(成人保健対策事業)

予防接種事業(带状疱疹ワクチン)

市民病院将来構想推進事業

救急自動車購入事業

高機能消防指令センター総合整備事業

地域保健医療推進事業(救急安心センター事業(＃7119))

水道管の耐震・老朽化対策(明姫幹線南A地区配水管整備事業)

生活困窮者自立支援事業(地域づくり・参加者支援事業)

(3) 安心して子育てができるまちづくり

産婦健康診査助成事業(母子保健事業)

公立認定こども園建設事業(阿弥陀こども園)

保育体制強化事業(保育環境改善事業)

体育館空調設備整備(小・中学校運営管理事業)

外壁対策工事(小・中学校施設建設事業)

介助員・スクールアシスタント配置(特別支援教育推進事業)

学習用タブレット・授業支援ソフト更新(小・中学校情報教育推進事業)

学校給食費負担軽減(小・中学校給食事業)

その他

マイナンバーカード出張申請交付(戸籍住民基本台帳事務事業)

QRコード決済導入事業(会計管理事務事業)

プレミアム付デジタル商品券事業(市内消費活性化事業)

デジタル地域ポイント事業(企画事務事業)

相続登記への司法書士相談対応(市民相談事業)

地域交流センター運営協議会活動補助・設備更新(地域交流センター運営管理事業・各地域交流センター整備事業)

6 政策評価

政策ごとに設定したKPIの状況を把握します。

施策ごとに設定した主要な事業(取組)を把握します。

KPIと事業(取組)から、政策ごとに第5次総合計画の進捗の評価を行います。

部	主要な事業数(R7)	政策評価担当数
政策部	17	4
総務部	14	2
財務部	6	1
市民部	11	1
健康こども部	20	3
福祉部	11	2
生活環境部	24	2
都市創造部	12	2
会計課	1	0
上下水道部	7	0
市民病院事務局	1	0
消防本部	5	0
教育部	15	1
議会事務局	0	0
選挙管理委員会事務局	1	0
監査委員・公平委員会事務局	0	0
農業委員会事務局	0	0
合計	145	18

政策評価表

1-1 みんなが子どもを育てるまち【子ども支援政策】

施策の基本的な方向

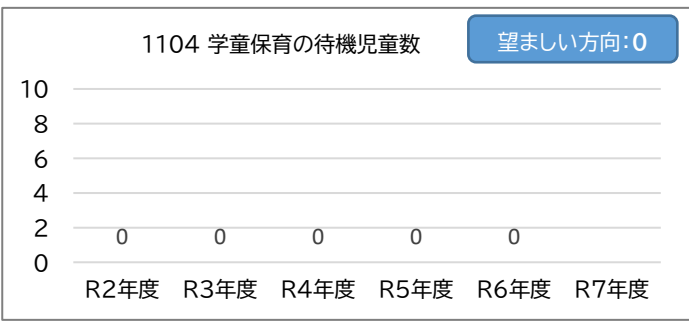
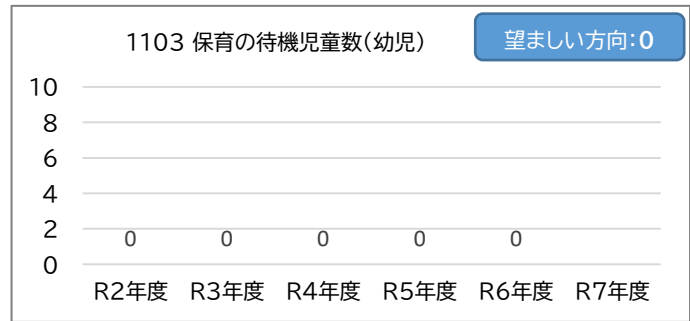
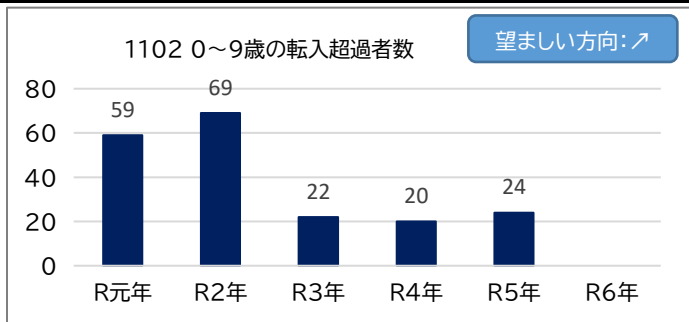
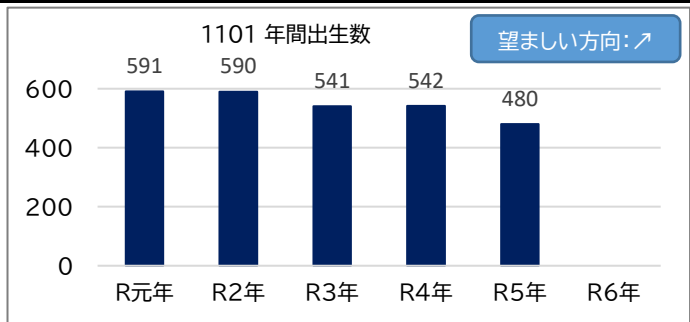
- ① すべての子どもが、健やかに成長しています
- ② 親が安心して子どもを生み、子どもを育てる環境や制度が整っています
- ③ 社会全体が、子どもの成長を喜び、支え、育んでいます

該当するSDGs



KPI

1101	年間出生数	R元年	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年
		591	590	541	542	480	
1102	0～9歳の転入超過者数	R元年	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年
		59	69	22	20	24	
1103	保育の待機児童数(幼児)(年度当初)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		0	0	0	0	0	
1104	学童保育の待機児童数(年度当初)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		0	0	0	0	0	



主要な事業

- ① すべての子どもが、健やかに成長しています

実施年度			対象事業			R7年度対象事業指標		
R7	R8	R9	(上段)事業名称 (下段)指標名	取組No. 指標単位	部 前年度実績	指標目標	中間実績	最終実績
○	○	○	子どもの居場所づくり事業 (子ども食堂への支援)	1111	健康こども部	11		
			子ども食堂数	箇所	10			
○	○	○	妊娠・出産包括支援事業(乳児家庭全戸訪問分)	1112	健康こども部	100		
			乳児家庭全戸訪問実施率	%	100			

○	○	○	学校給食費負担軽減(小・中学校給食事業)	1113	教育部	99.1		
			学校給食費の徴収率	%	99.1 (4月末)			
○	○	○	こども家庭相談センター(子ども家庭総合支援拠点)の運営	1114	健康こども部	17		
			要保護児童対策協議会の開催回数	回	17			
○	○	○	高砂児童学園運営整備事業	1115	健康こども部	100		
			高砂児童学園のあり方についての方向性の決定	%	80			

② 親が安心して子どもを生み、子どもを育てる環境や制度が整っています

実施年度			対象事業			R7年度対象事業指標		
R7	R8	R9	(上段)事業名称 (下段)指標名	取組No. 指標単位	部 前年度実績	指標目標	中間実績	最終実績
○	○	○	利用者支援事業(保育)	1121	健康こども部	0		
			保育所等の待機児童数	人	0			
○	○	○	利用者支援事業	1121	健康こども部	40		
			子育て相談の実施件数	件	36			
○	○	○	地域子育て支援拠点事業	1121	健康こども部	28,000		
			子育て支援センター利用者数	人	28,151			
○	○	○	学童保育事業	1122	健康こども部	0		
			待機児童数(学童保育)	人	0			
○			就学前施設の保全・整備事業	1122	健康こども部	1		
			公立こども園の施設整備	園	1			
○	○	○	保育環境改善事業(保育体制強化事業)	1122	健康こども部	11		
			保育支援員を配置する民間認定こども園等の数	園	—			

③ 社会全体が、子どもの成長を喜び、支え、育んでいます

実施年度			対象事業			R7年度対象事業指標		
R7	R8	R9	(上段)事業名称 (下段)指標名	取組No. 指標単位	部 前年度実績	指標目標	中間実績	最終実績
○	○	○	こども家庭相談センター(妊娠・出産包括支援)の運営	1131	健康こども部	100		
			切れ目ない支援を必要とする人のうちの妊産婦訪問や産後ケア事業など支援につながった人の割合	%	100			
○	○	○	子どもの居場所づくり (放課後子ども教室の実施)	1132	教育部	95		
			放課後子ども教室(学習)参加者のアンケートによる満足度	%	96			
○	○	○	妊娠・出産包括支援事業 (不妊・不育治療助成)	1133	健康こども部	100		
			不妊不育支援を必要とする人のうちの助成につながった割合	%	100			

前年度最終評価 「実施したが課題が残っていること、または今後必要な対応」	・共働き・ひとり親世帯の増加や地域との希薄化など、こどもを取り巻く環境が大きく変化しているなか、審議会の意見にもあるように、今後、こどもの居場所づくりの重要性が増していくものと考える。 ・子ども食堂への支援や学童保育所の待機児童ゼロへの取組により、居場所づくりの充実を図るなど、引き続き、時代や状況に応じた取組を進めていきたい。また、こどもだけの居場所だけでなく、こどもから高齢者まで、地域の方の居場所となるよう、子ども食堂等の居場所づくりの拡充や周知、PRに努めていく。
---	---

前年度 審議会評価及び意見	・年代別の支援状況を分かりやすくPRする必要がある。特に子育て支援については他市と比較しても遜色がない。だが、そのことを市民が知らないの、口コミなどで伝えることもできないし、市に転入することの魅力が伝わっていない。施策のPRが上手くいっていないのではないのか。 ・1号認定について、幼稚園型での入所希望の方が、校区内の園に通えないということが起きている。 ・こどもを取り巻く環境が大きく変わっていることによる課題を解決するためにも、こどもや地域のつながりを活かした居場所づくりが必要となってくる。
------------------	--

今年度中間評価	今年度最終評価
実施し、効果があったこと	実施し、効果があったこと
実施したが課題が残っていること、または今後必要な対応	実施したが課題が残っていること、または今後必要な対応

審議会評価及び意見

--

政策評価表

1-2 子どもが学ぶ力を育むまち【教育政策】

施策の基本的な方向

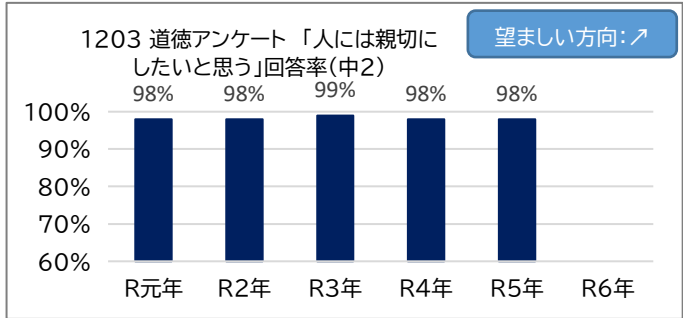
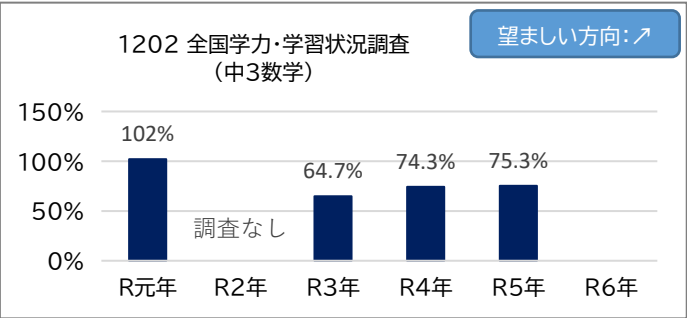
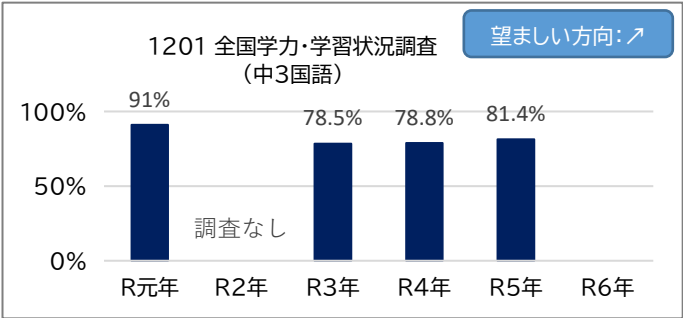
- ① すべての子どもが、それぞれの「個」に応じた学習を進めています
- ② 学校に通う子どもが、安全に安心して学習できる環境が整っています
- ③ 学校・家庭・地域が、子どもの学習を支え、育んでいます

該当するSDGs



KPI

1201	全国学力・学習状況調査正答率8割以上の層の比率(中3国語)	R元年	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年
		91%	調査なし	78.5%	78.8%	81.4%	
1202	全国学力・学習状況調査正答率8割以上の層の比率(中3数学)	R元年	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年
		102%	調査なし	64.7%	74.3%	75.3%	
1203	道徳アンケート「人には親切にしたいと思う」回答率(中2)	R元年	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年
		98%	98%	99%	98%	98%	



主要な事業

- ① すべての子どもが、それぞれの「個」に応じた学習を進めています

実施年度			対象事業			R7年度対象事業指標		
R7	R8	R9	(上段)事業名称	取組No.	部	指標目標	中間実績	最終実績
			(下段)指標名	指標単位	前年度実績			
○	○	○	授業力の向上	1211	教育部	82		
			全国学力・学習状況調査の質問紙調査において「国語の授業の内容がよく分かる、分かる」と回答した生徒の割合(中学3年)	%	—			
○	○	○	人権及び特別支援教育	1214	教育部	7		
			多文化共生、特別支援教育に関する研修	回	7			

② 学校に通う子どもが、安全に安心して学習できる環境が整っています

実施年度			対象事業	R7年度対象事業指標			
R7	R8	R9	(上段)事業名称 (下段)指標名	取組No. 指標単位	部 前年度実績	指標目標	中間実績
○	○	○	問題行動・不登校などへの対応	1221	教育部	85.0	
			全国学力・学習状況調査の質問紙調査において「学校に行くのは楽しいと思いますか」の質問で肯定的な回答の割合(小学6年)	%	83.3		
○	○	○	ICT機器を活用した授業づくり	1222	教育部	90	
			互いの考えを交換し、共有して話し合いなどができるようにコンピュータやソフトウェアなどを活用している児童の割合	%	87		
○	○	○	学校のあり方検討事業	1224	教育部	100	
			適正規模適正配置基本方針の策定(進捗度)	%	0		
○			小中学校体育館空調設備整備	1224	教育部	16	
			空調設備を設置した小中学校の体育館数	校	0		
○			小中学校校舎外壁対策工事	1224	教育部	12	
			外壁対策工事を実施した学校数	校	0		

③ 学校・家庭・地域が、子どもの学習を支え、育んでいます

実施年度			対象事業	R7年度対象事業指標			
R7	R8	R9	(上段)事業名称 (下段)指標名	取組No. 指標単位	部 前年度実績	指標目標	中間実績
○	○	○	家庭学習の支援	1232	教育部	92	
			全国学力・学習状況調査の質問紙調査において「朝食を毎日食べていますか」の質問で肯定的な回答の割合(中学3年)	%	90.1		
○	○	○	部活動地域展開	1233	教育部	7	
			実証研究を実施した部活動数	回	3		

前年度最終評価 「実施したが課題が残っていること、または今後必要な対応」	・少子化等に伴う学校の適正規模・適正配置については、現在、新たな学校づくり推進計画の策定に取り組んでおり、引き続き、学区の再編等も含め検討を進めていく。 ・また、全国的な課題である部活動の地域展開では、サッカー、ソフトボール、陸上競技で実証事業を進めることができたが、地域での受け皿の確保や市民への周知等の課題があり、今後も関係部局と協力しながら問題解決に努める。 ・ICTの活用では、保護者用連絡ツールの導入により、教職員の業務改善やペーパーレスに効果があったものの、教職員へのICTに関する研修を引き続き実施し、授業づくりにおけるICTの有効的な活用を進めていく必要がある。
前年度 審議会評価及び意見	・家で勉強が難しい方が勉強できる場所を図書館以外で作っていただきたい。交流センター内など市内に自習スペースをいくつか設ける考えはあるのか。 ・中学校を卒業して子どもたちが、高校の生活を体験した上で、中3の受験勉強や高校の様子などの話をしながら総括的に受験生をサポートしていく仕組みがある。中学校では、受験生に対し、夏休みや冬休みに学校を開放しているが、高校生は勉強できる場所がない。大学受験に向けた長期休みで勉強できる場を作っていただきたい。 ・学校では施設や設備の問題への対応が不十分な部分があり、また、少子化が進むことにより、適正なクラス数を維持できなくなっている学校もある。施設整備を進めていく意味でも、学校の統廃合を真剣に取り組むべきである。

今年度中間評価	今年度最終評価
実施し、効果があったこと	実施し、効果があったこと
実施したが課題が残っていること、または今後必要な対応	実施したが課題が残っていること、または今後必要な対応

審議会評価及び意見

政策評価表

1-3 個人が尊重し合い、安心して平和に暮らすまち【人権政策】

施策の基本的な方向

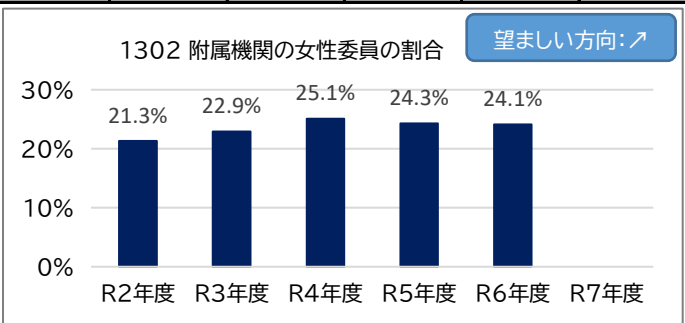
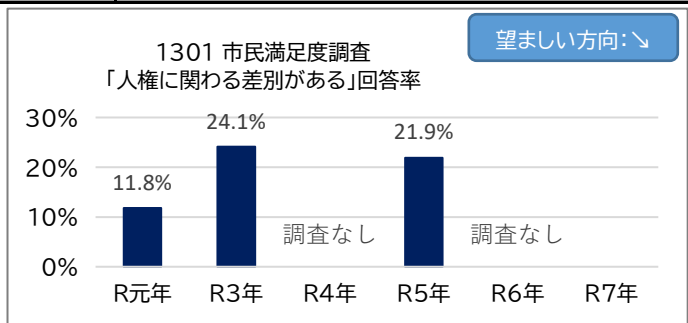
- ① 年齢、性別、生涯、出身、文化によらず、すべての人が安心して暮らしています
- ② 異なる文化や個性を理解し、お互いを尊重し、それぞれが自己実現しています

該当するSDGs



KPI

1301	市民満足度調査「人権に関わる差別がある」回答率	R元年	R3年	R4年	R5年	R6年	R7年
		11.8%	24.1%	調査なし	21.9%	調査なし	
1302	附属機関の女性委員の割合	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		21.3%	22.9%	25.1%	24.3%	24.1%	



主要な事業

- ① 年齢、性別、障がい、出身、文化によらず、すべての人が安心して暮らしています

実施年度			対象事業			R7年度対象事業指標		
R7	R8	R9	(上段)事業名称	取組No.	部	指標目標	中間実績	最終実績
			(下段)指標名	指標単位	前年度実績			
○	○	○	人権教育・啓発の推進	1311	福祉部	45		
			人権教育・啓発に係る講座の開催数	回	42			

- ② 異なる文化や個性を理解し、お互いを尊重し、それぞれが自己実現しています

実施年度			対象事業			R7年度対象事業指標		
R7	R8	R9	(上段)事業名称	取組No.	部	指標目標	中間実績	最終実績
			(下段)指標名	指標単位	前年度実績			
○	○	○	多文化共生社会の推進	1322	健康こども部	100		
			支援の進捗率	%	100			
○	○	○	女性活躍の推進	1323	福祉部	100		
			セミナーへの延べ参加者数	人	98			

前年度最終評価 「実施したが課題が残っていること、または今後必要な対応」	・「第4次たかさご男女共同参画プラン」及び「高砂市人権教育及び啓発に関する基本計画」策定業務において、社会情勢の変化を踏まえながら、本市の実情と課題に対応できる新計画の策定に取り組む必要がある。 ・また、市民の男女共同参画及び人権に対する関心は低く、今後も継続的な啓発が必要であるため、引き続き、人権意識の高揚が期待できる講座の企画や就労における女性活躍に向けた取組を推進し、インクルーシブ社会を目指していきたい。
---	---

前年度 審議会評価及び意見	・ジェンダーに配慮した制服を選べるように、市内でばらつきをなくす必要がある。
--------------------------	---

今年度中間評価	今年度最終評価
実施し、効果があったこと	実施し、効果があったこと
実施したが課題が残っていること、または今後必要な対応	実施したが課題が残っていること、または今後必要な対応

審議会評価及び意見

政策評価表

1-4 地域で自立を支え合い、つながり合うまち【福祉政策】

施策の基本的な方向

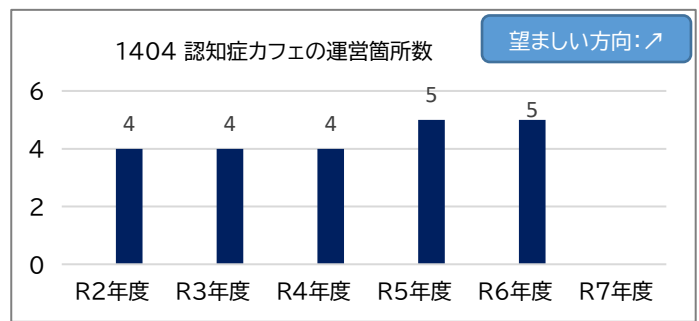
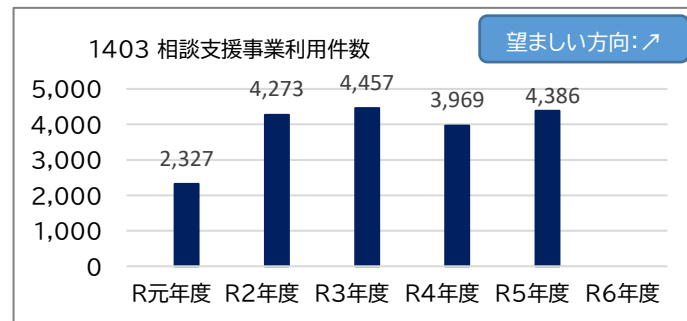
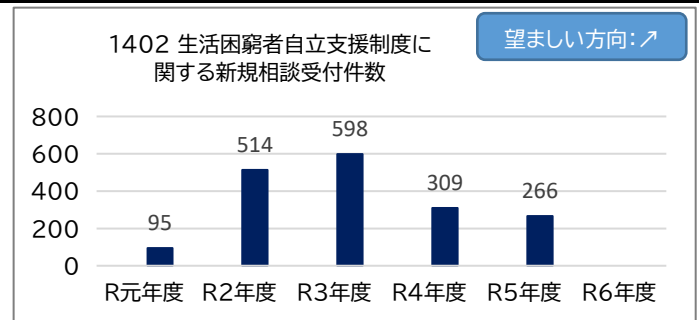
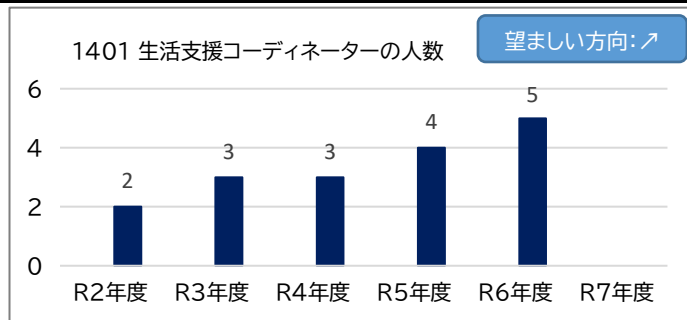
- ① すべての人が、合理的な配慮により、必要な福祉サービスを受け、自立して生活できる環境が整っています
- ② 支援する人を応援し、支え合う社会ができています

該当するSDGs



KPI

1401	生活支援コーディネーターの人数(年度当初)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		2	3	3	4	5	
1402	生活困窮者自立支援制度に関する新規相談受付件数	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
		95	514	598	309	266	
1403	相談支援事業利用件数	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
		2,327	4,273	4,457	3,969	4,386	
1404	認知症カフェの運営箇所数(年度当初)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		4	4	4	5	5	



主要な事業

- ① すべての人が、合理的な配慮により、必要な福祉サービスを受け、自立して生活できる環境が整っています

実施年度			対象事業			R7年度対象事業指標		
R7	R8	R9	(上段)事業名称	取組No.	部	指標目標	中間実績	最終実績
			(下段)指標名	指標単位	前年度実績			
○	○	○	生活困窮者の自立支援	1411	福祉部	300		
			生活困窮者自立支援制度に関する新規相談受付件数	件	279			
○	○	○	子どもの学習・生活支援事業	1411	福祉部	20		
			学習・生活支援を行った人数	人	17			
○	○	○	総合的な介護予防の推進	1412	福祉部	96		
			いきいき百歳体操の登録グループ数	グループ	96			
○	○	○	高齢者福祉施策の充実	1413	福祉部	60.0		
			申請を受け、配布したタクシー券の利用率	%	58.7			

○	○	○	障がい者自立支援事業	1414	福祉部	4,000		
			基幹相談支援センター相談件数	件	4,579			
○	○	○	ひとり親家庭等自立支援事業	1415	健康こども部	80		
			自立支援事業の利用者の就労割合	%	100			

② 支援する人を応援し、支え合う社会ができています

実施年度			対象事業	R7年度対象事業指標				
R7	R8	R9	(上段)事業名称 (下段)指標名	取組No. 指標単位	部 前年度実績	指標目標	中間実績	最終実績
○	○	○	地域共生社会の推進	1421	福祉部	43		
			だれでも立ち寄りステーションを拠点とした居場所の開催	回	—			
○	○	○	地域包括ケアシステムの推進	1422	福祉部	1,900		
			地域包括支援センター、協力センターでの総合相談件数	件	1,861			
○	○	○	成年後見制度の利用促進	1423	福祉部	6		
			成年後見制度相談会の実施	回	3			

前年度最終評価 「実施したが課題が残っていること、または今後必要な対応」	・高齢者福祉タクシーの助成拡大により、高齢者の移動支援ニーズへの対応は着実に進んでいるが、高齢化が進む中、地域における公共交通のあり方の整理は非常に重要であると考える。 ・都市創造部が策定を進めている地域公共交通計画において、高齢者及び障がい者ニーズを把握しながら、より効果的な移動手段のあり方を検討し、市域全体の公共交通による利便性を確保していきたい。
---	---

前年度 審議会評価及び意見	・移動手段の確保は、生活（買い物、通院）、社会参加、介護予防（心身の機能低下）に欠かせず、運転免許を返納してしまったらどうしたら良いかという高齢者の不安は大きい。福祉タクシーやコミュニティバスの運行では不十分である。 ・地域公共交通計画を作成する際には、障害を持っている方の団体など、各種団体にも入っていただいて議論するのが良い。地区ごと等、ニーズをしっかりとらえていくことが重要である。 ・非常に苦しい状態の中で、バリアフリー月間や図書館を使って、手話に関する啓蒙活動を行っている。障害者の啓蒙活動も、福祉部にやっていただくことはできるのか。 ・待遇などの面から福祉専門職の担い手が不足しており、行政の協力を得て取り組んで行く必要がある。 ・障がい者・高齢者などの区分ではなく、包括支援の考え方を、地域全体で取り組んでいかないといけない。
--------------------------	---

今年度中間評価	今年度最終評価
実施し、効果があったこと	実施し、効果があったこと
実施したが課題が残っていること、または今後必要な対応	実施したが課題が残っていること、または今後必要な対応

審議会評価及び意見

政策評価表

1-5 健康を維持し、医療サービスを安心して受けられるまち【健康・医療政策】

施策の基本的な方向

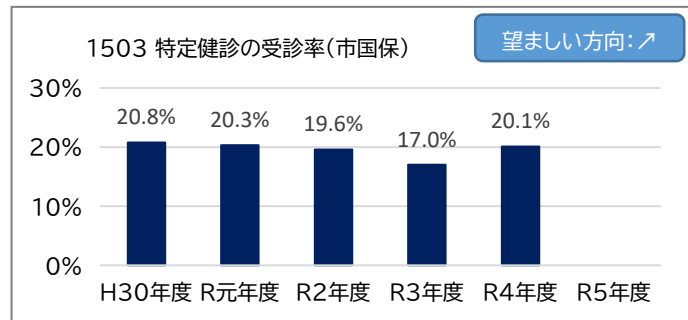
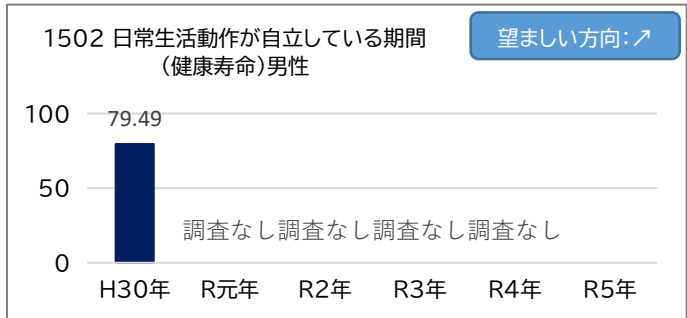
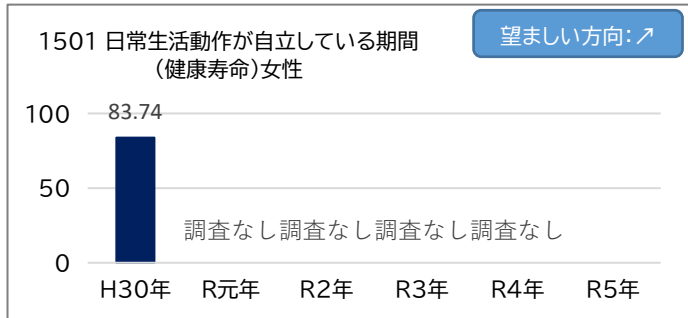
- ① 疾病予防体制が充実し、多くの人が生涯にわたり心身ともに健康にすごせています
- ② 充実した医療体制が継続的に提供され、安心して医療を受けられます

該当するSDGs



KPI

1501	日常生活動作が自立している期間(健康寿命)女性	H30年	R元年	R2年	R3年	R4年	R5年
		83.74	調査なし	調査なし	調査なし	調査なし	
1502	日常生活動作が自立している期間(健康寿命)男性	H30年	R元年	R2年	R3年	R4年	R5年
		79.49	調査なし	調査なし	調査なし	調査なし	
1503	特定健診の受診率(市国保)	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
		20.8%	20.3%	19.6%	17.0%	20.1%	



主要な事業

- ① 疾病予防体制が充実し、多くの人が生涯にわたり心身ともに健康にすごせています

実施年度			対象事業			R7年度対象事業指標		
R7	R8	R9	(上段)事業名称	取組No.	部	指標目標	中間実績	最終実績
			(下段)指標名	指標単位	前年度実績			
○	○	○	成人保健対策事業(がん検診)	1511	健康こども部	15.7		
			がん検診受診率(乳がん検診)	%	14.7			
○	○	○	特定健診の受診率(市国保)向上のための取組	1512	市民部	24.0		
			受診率	%	21.4			
○	○	○	歯周疾患検診事業(成人保健対策事業)	1512	健康こども部	10		
			歯周疾患検診受診率(20,30歳)	%	—			
○	○	○	定期予防接種事業(带状疱疹ワクチン)	1514	健康こども部	20		
			带状疱疹ワクチン定期予防接種の接種率	%	—			

② 充実した医療体制が継続的に提供され、安心して医療を受けられます

実施年度			対象事業			R7年度対象事業指標		
R7	R8	R9	(上段)事業名称 (下段)指標名	取組No. 指標単位	部 前年度実績	指標目標	中間実績	最終実績
○	○	○	救急安心センター事業(#7119)	1522	健康こども部	2		
			軽症者の救急車要請率の減少率	%	—			
○	○	○	高砂市民病院の将来構想の推進	1523	政策部	100		
			高砂市民病院の経営形態決定	%	—			
○	○	○	持続可能な経営基盤の確立	1523	市民病院事務局	522,000		
			単年度資金不足額	千円	683,341			
○	○	○	救急活動事業	1524	消防本部	4.0		
			救命率の向上(心肺停止患者の社会復帰率)	%	3.2			
○			救急自動車購入事業	1524	消防本部	1		
			高規格救急自動車の購入台数	台	—			
○	○	○	応急手当普及啓発活動事業	1525	消防本部	45		
			バイスタンダーによる心肺蘇生の実施率	%	44			
○	○	○	国民健康保険料収納率向上のための取組	1526	市民部	94.4		
			国民健康保険料徴収率(現年分)	%	94.2 (4月末)			

前年度最終評価 「実施したが課題が残っていること、または今後必要な対応」	・審議会の意見にあるように、健診・検診やワクチン接種などの予防は、市民の健康寿命を延ばすだけでなく、医療や保健といった財政を逼迫させないためにも非常に重要である。 ・健診・検診受診率の向上が図れるよう、様々な啓発活動・事業の研究を行うとともに、無償化対象年齢の拡充など、環境整備に努める必要がある。
---	--

前年度 審議会評価及び意見	・企業目線では定期健診などの対応を実施すると、高砂市民病院のハードルが低くなり、幅や充実度が出れば行きやすいと思う。 ・病気やケアなどをした際の医療サービスはもちろん重要だが、健康に生活するためには、その前に病気にならないことが重要である。特定健診の受診率は依然として低い状態が続いている。病気予防や介護予防の観点で、まずは予防が重要である。 ・がん検診などの受診率が低い、がんは発生しており検診の促進が重要。高齢者は病院にかかっている方が多いので、検査の結果も踏まえて、今後、検診率を上げていきたい。 ・検診を受けるためにお守りカードとクーポンを用意しなければならず、手続きの面倒さが受診離れの要因のひとつであると思う。マイナンバーカードなどを活用し、スムーズな予約をできるようにすればいいのでは。 ・検診率の向上には周知徹底と受けやすい環境整備が重要である。 ・がん検診の検診率の向上やワクチン接種による予防が重要である。予防により、市民の健康寿命を延ばすだけでなく、医療や保健といった財政を逼迫させないための一つの方法である。
------------------	---

#	
今年度中間評価	今年度最終評価
実施し、効果があったこと	実施し、効果があったこと
実施したが課題が残っていること、または今後必要な対応	実施したが課題が残っていること、または今後必要な対応

審議会評価及び意見

政策評価表

2-1 住民が望む、暮らしに良好な住環境のまち【まちづくり政策】

施策の基本的な方向

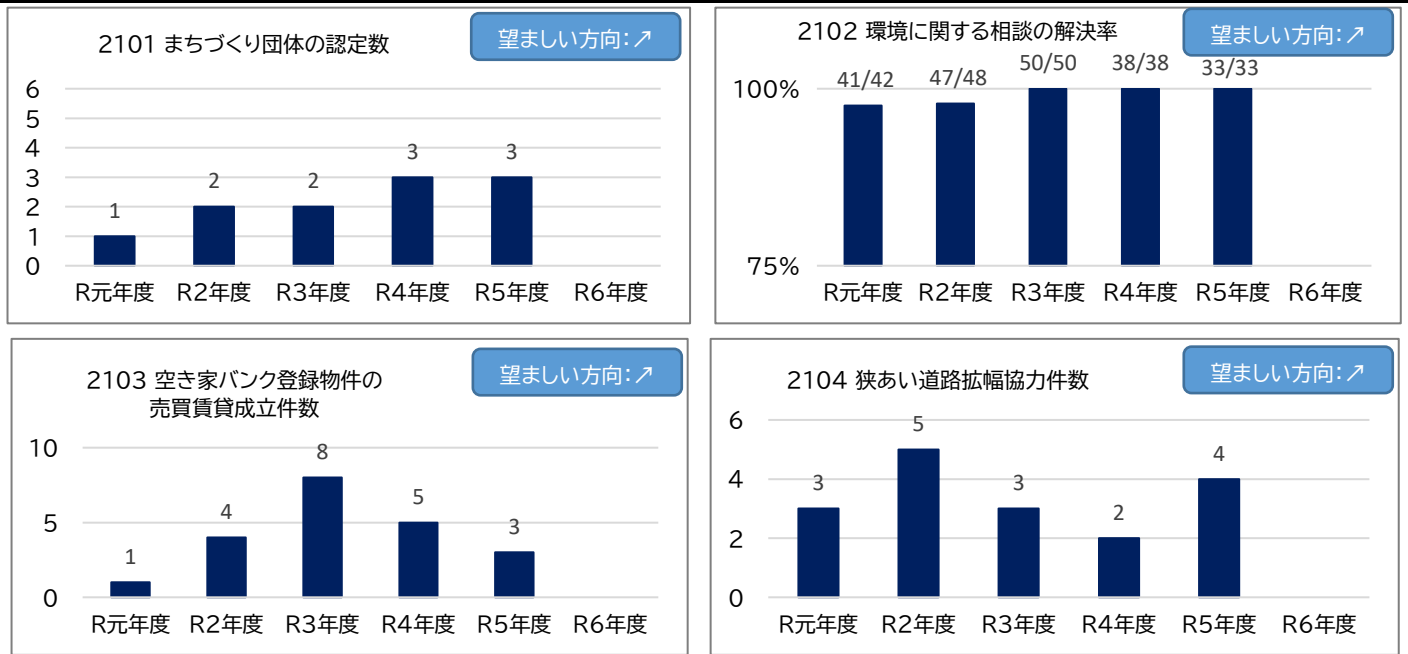
- ① 持続可能なまちを目指して、住民合意によるまちづくりに取り組んでいます
- ② 事業者や地域住民が中心になり、地域の環境改善に取り組んでいます
- ③ 住みたくなる、暮らしやすい住宅地が整備または再整備されています

該当するSDGs



KPI

2101	まちづくり団体の認定数(年度末)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
		1	2	2	3	3	
2102	環境に関する相談の解決率	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
		41/42	47/48	50/50	38/38	33/33	
2103	空き家バンク登録物件の売買賃貸成立件数	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
		1	4	8	5	3	
2104	狭あい道路拡幅協力件数	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
		3	5	3	2	4	



主要な事業

- ① 持続可能なまちを目指して、住民合意によるまちづくりに取り組んでいます

実施年度			対象事業			R7年度対象事業指標		
R7	R8	R9	(上段)事業名称	取組No.	部	指標目標	中間実績	最終実績
			(下段)指標名	指標単位	前年度実績			
○	○		明姫幹線南A地区污水管整備事業(工事)	2111	上下水道部	100		
			各工事の進捗管理 伊保東2丁目地区污水管渠整備工事(第2工区)【R6繰越】 伊保東2丁目地区污水管渠整備工事(第3工区)【R7】 伊保4丁目地区污水管渠整備工事【R7-8債務】	%	50			

② 事業者や地域住民が中心になり、地域の環境改善に取り組んでいます

実施年度			対象事業	R7年度対象事業指標			
R7	R8	R9	(上段)事業名称 (下段)指標名	取組No. 指標単位	部 前年度実績	指標目標	中間実績
○	○	○	環境保全推進事業	2121	生活環境部	100	
			環境保全協定締結事業者の協定履行状況	%	100		
○	○	○	環境美化活動の推進	2122	生活環境部	43,500	
			地域清掃参加者のべ人数	人	43,210		

③ 住みたくなる、暮らしやすい住宅地が整備または再整備されています

実施年度			対象事業	R7年度対象事業指標			
R7	R8	R9	(上段)事業名称 (下段)指標名	取組No. 指標単位	部 前年度実績	指標目標	中間実績
○	○	○	狭あい道路の拡幅	2132	都市創造部	60	
			狭あい道路の拡幅延長	m	35		
○			自転車道等整備事業	2133	都市創造部	450	
			自転車ネットワーク路線の整備延長	m	680		
○	○	○	減災意識の高揚	2134	総務部	30	
			防災出前講座の実施回数	回	31		
○	○	○	空家等対策推進事業	2135	都市創造部	4	
			空き家バンク登録物件の売買・賃貸成約件数	件	2		

前年度最終評価 「実施したが課題が残っていること、または今後必要な対応」	・「明姫幹線南A地区污水管整備事業(工事)」は近接工事との調整に時間を要し、令和7年度5月末完成の見込みで、暮らしやすい住宅地の整備を進めている。 ・「狭あい道路の拡幅延長」「空き家バンク登録件数分権の売買・賃貸成約件数」については、家屋の建替え、空き家ニーズの市民の動向に合わせて啓発をし、目標達成に努めていきたい。 ・また、課題がある空家については、状況を把握し、個々に応じた対応を検討、実施している。
前年度 審議会評価及び意見	・ハザードマップについて、紙であれば、なかなか更新しにくいと思うため、デジタルツールがメインになるのかと思う。 紙媒体にする場合は、家に配布するのか避難所に貼っておくのかなど、課題があると思う。情報弱者、デジタルツールに馴染まない方も多くいるため、対応は重要である。 ・高砂市のハザードマップを調べてみたが、短時間では、見たい情報までたどり着けなかった。公開して終わりではなく使ってもらうことが重要。 ・企業におけるBCP、防災対策が、できているようでできていない。各企業で幅を広げていく必要性を感じる。 ・道路行政中心となるため、まちづくりでは、住民の安全等が課題となってくる。車とそれ以外の住み分けが大切ではないか。 ・10年前から駅周辺などの街のにぎわいや公共交通が議論されており、この10年間高砂市は変わっていないと感じる。

今年度中間評価	今年度最終評価
実施し、効果があったこと	実施し、効果があったこと
実施したが課題が残っていること、または今後必要な対応	実施したが課題が残っていること、または今後必要な対応

審議会評価及び意見

政策評価表

2-2 公共交通が暮らしの利便性を向上させるまち【公共交通政策】

施策の基本的な方向

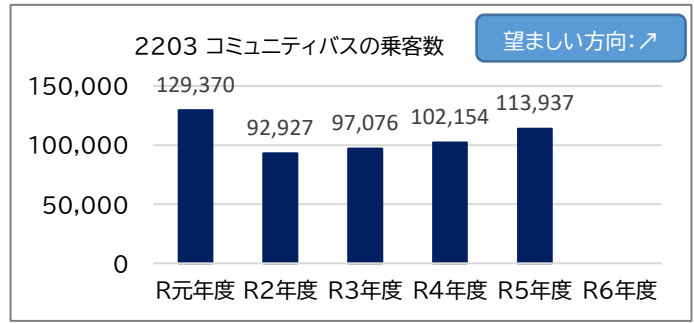
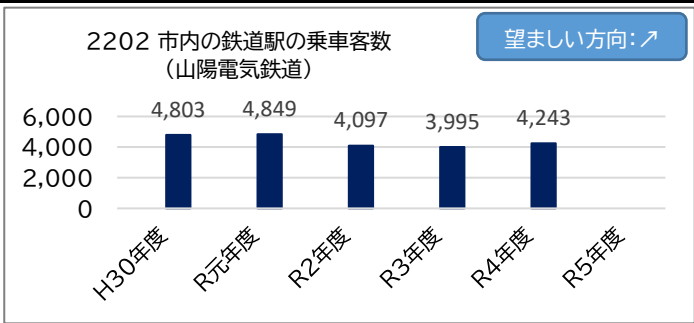
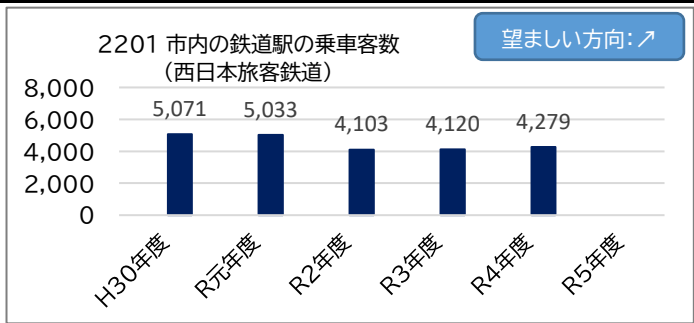
- ① 行きたい目的地へ快適に移動できる手段を確保しています
- ② 公共交通の拠点に商店、病院、公共施設等が集まっています
- ③ 市民が、移動手段の確保の重要性を理解し、協力しています

該当するSDGs



KPI

2201	市内の鉄道駅の乗車客数(西日本旅客鉄道)(千人)	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
		5,071	5,033	4,103	4,120	4,279	
2202	市内の鉄道駅の乗車客数(山陽電気鉄道)(千人)	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
		4,803	4,849	4,097	3,995	4,243	
2203	コミュニティバスの乗客数(人)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
		129,370	92,927	97,076	102,154	113,937	



主要な事業

- ① 行きたい目的地へ快適に移動できる手段を確保しています

実施年度			対象事業			R7年度対象事業指標		
R7	R8	R9	(上段)事業名称	取組No.	部	指標目標	中間実績	最終実績
			(下段)指標名	指標単位	前年度実績			
○			市内への公共交通の活用	2212	都市創造部	100		
			地域公共交通計画策定業務委託の実施	%	100			

② 公共交通の拠点に商店、病院、公共施設等が集まっています

実施年度			対象事業	R7年度対象事業指標			
R7	R8	R9	(上段)事業名称 (下段)指標名	取組No. 指標単位	部 前年度実績	指標目標	中間実績 最終実績
○			地域のにぎわいのための駅周辺整備	2221	都市創造部	8	
			JR宝殿駅前道路改良、JR曾根駅周辺整備、 山陽電鉄高砂駅南・荒井駅周辺整備の検討	回	4		
○	○	○	JR曾根駅周辺整備事業	2224	都市創造部	100	
			JR曾根駅自由通路等詳細設計業務委託の実施 周辺整備工事の実施 用地取得の実施	%	100		

③ 市民が、移動手段の確保の重要性を理解し、協力しています

実施年度			対象事業	R7年度対象事業指標			
R7	R8	R9	(上段)事業名称 (下段)指標名	取組No. 指標単位	部 前年度実績	指標目標	中間実績 最終実績
○	○	○	コミュニティバス運行事業	2231	都市創造部	121,000	
			コミュニティバスの乗客数	人	120,012		

前年度最終評価 「実施したが課題が残っていること、または今後必要な対応」	・審議会の意見にあるように駅周辺の賑わいは市の活性化において非常に重要であると考えている。 ・長年の課題であったJR曾根駅の利便性向上及び周辺整備として、「JR曾根駅自由通路等詳細設計業務委託(令和6～10年度)」等を実施しており、今後も工程管理を行い、令和10年度の橋上駅、自由通路の完成を目指していく。
---	--

前年度 審議会評価及び意見	・山電荒井駅周辺整備について、説明会を実施しているようであるが、その内容を教えて欲しい。 ・駅前が賑わい、買い物をする場所があることが重要。西友に続いてトーホーストアが閉店となり、高砂地区・荒井地区の買い物難民がさらに増加する。好まれる宅地のためには、「買い物が便利であること」は必須条件である。 ・コミュニティバスはあるが、終わるのが早く、帰るときにないのが困っている。ウーバーのようなシステムを取り入れて、手が空いている人がタクシーを動かせないか。 ・インフラ等の交通整備を行うことで、行きたいときに行きたいところへ市民が行くことができるようになり、生活の快適さの向上に繋がる。高齢者が増えるなかで、買い物難民への利便性を高めていくことが重要。 ・じょうとんバスの「じょうとんパス」を12月に発行していただき、市民は喜んでいる。ルートや時間等の見直しによりさらに活性化できると思う。 ・市民も高齢化が進み、移動手段がなくなっている。そのため、じょうとんバスの利用も増えてくるため、停留場の数を増やしていただきたい。 ・産業に欠かせない水と土地に余裕があり、また、神戸空港が国際化し、公共交通機関を利用して約1時間で来ることができる高砂市は、注目度がさらに上がってくる楽しい場所であると感じている。
------------------	--

今年度中間評価	今年度最終評価
実施し、効果があったこと	実施し、効果があったこと
実施したが課題が残っていること、または今後必要な対応	実施したが課題が残っていること、または今後必要な対応

審議会評価及び意見

--

政策評価表

2-3 資源を活かした特色ある産業、暮らしを支える産業があるまち【産業政策】

施策の基本的な方向

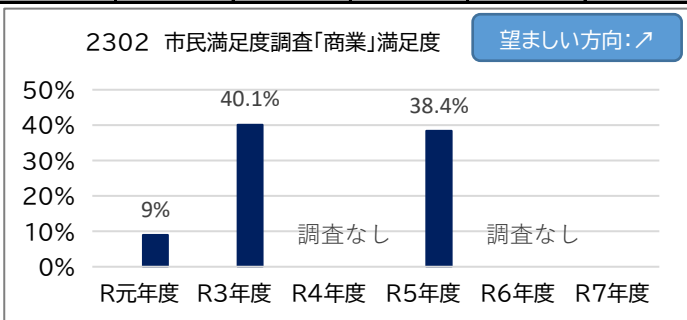
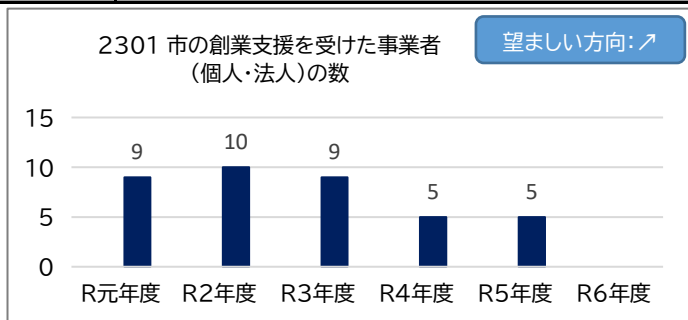
- ① 高砂市の資源や技術革新を活かした特色ある産業があります
- ② 魅力あるサービス業の充実により、暮らしやすい生活を送っています
- ③ 持続可能な社会に資する自主的で豊かな消費生活を送っています

該当するSDGs



KPI

2301	市の創業支援を受けた事業者(個人・法人)の数	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
		9	10	9	5	5	
2302	市民満足度調査「商業」満足度	R元年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		9%	40.1%	調査なし	38.4%	調査なし	



主要な事業

- ① 高砂市の資源や技術革新を活かした特色ある産業があります

実施年度			対象事業			R7年度対象事業指標		
R7	R8	R9	(上段)事業名称 (下段)指標名	取組No. 指標単位	部 前年度実績	指標目標	中間実績	最終実績
○	○	○	産業の活性化(企業立地の促進)	2311	生活環境部	1		
			企業立地促進奨励金の交付事業者の件数	者	0			
○	○	○	産業の活性化(中小事業者キャッシュレス・DX化支援)	2311	生活環境部	36		
			中小事業者キャッシュレス・DX化支援事業補助件数	件	13			
○			プレミアム付デジタル商品券事業	2311	生活環境部	100		
			デジタルプレミアム商品券申込率	%	—			
○	○	○	創業支援事業計画の推進	2312	生活環境部	10		
			市の創業支援を受けた事業者(個人・法人)数	者	5			
○	○	○	都市農業の振興	2313	生活環境部	4		
			体験農業を実施している団体数	者	3			
○	○	○	水産業の経営基盤強化	2314	生活環境部	10		
			水産資源の確保のための種苗放流回数	者	8			

② 魅力あるサービス業の充実により、暮らしやすい生活を送っています

実施年度			対象事業	R7年度対象事業指標			
R7	R8	R9	(上段)事業名称 (下段)指標名	取組No. 指標単位	部 前年度実績	指標目標	中間実績 最終実績
○	○	○	生活関連サービスの活性化(空き店舗等活用支援補助金)	2322	生活環境部	5	
			空き店舗等活用支援事業補助金交付件数	件	5		
○	○	○	地域産業の持続的発展	2323	生活環境部	36	
			中小事業者キャッシュレス・DX化支援事業補助件数	件	13		

③ 持続可能な社会に資する自主的で豊かな消費生活を送っています

実施年度			対象事業	R7年度対象事業指標			
R7	R8	R9	(上段)事業名称 (下段)指標名	取組No. 指標単位	部 前年度実績	指標目標	中間実績 最終実績
○	○	○	地産地消の推進	2331	生活環境部	100	
			ふぁーみんショップ登録数	者	81		

前年度最終評価 「実施したが課題が残っていること、または今後必要な対応」	・企業立地促進奨励金については、交付対象予定事業者の相談を受けており、今後、事業基盤強化の支援につなげていく。 市内の農地活用については、現在、将来の農地活用につながる地域計画の作成を地域農家の皆さんと協議しながら進めている。 ・また、買い物困難者への対策として、市内全域における移動スーパーの実証実験を検討しており、令和7年中の実施に向けて現在調整を進めている。
---	---

前年度 審議会評価及び意見	・西友跡地については、遊ぶ場所がなくなっていることから公園に整備できないか。大型施設に来てもらうのは現実的ではないので、空き地に綺麗な公園や子どもが遊びに行けるところが整備できれば良いと思う。 ・昔、西友ができたときのように、商業複合施設の誘致は、市民はもちろん、近隣からの買い物客が見込め、経済の活性化に繋がるのではないか。 ・昔、西友が高砂にあった当時は賑やかであった。社会の流れで、郊外に移るのは仕方ないが、日々の買い物をされる方は非常に不便だと思うため充実してほしい。 週末に、郊外のショッピングセンターにいく流れは仕方ないため、日々の買い物を充実させる方法は何かないか。 ・淡路島では、中小企業さんがスーパーをされており、行政と対話しつつ、店舗がないエリア外の地域に対して、基本的に民間のお金だけで、移動スーパーを実現させ、黒字経営をされている事例があった。 高砂で民間のスーパーがないのであれば、個人的には自治体でやればいいのかと思う。第3セクターや組合組織的なものを立ち上げる方法もあるのではないか。
--------------------------	---

今年度中間評価	今年度最終評価
実施し、効果があったこと	実施し、効果があったこと
実施したが課題が残っていること、または今後必要な対応	実施したが課題が残っていること、または今後必要な対応

審議会評価及び意見

--

政策評価表

2-4 環境にやさしい暮らしがあるまち【環境政策】

施策の基本的な方向

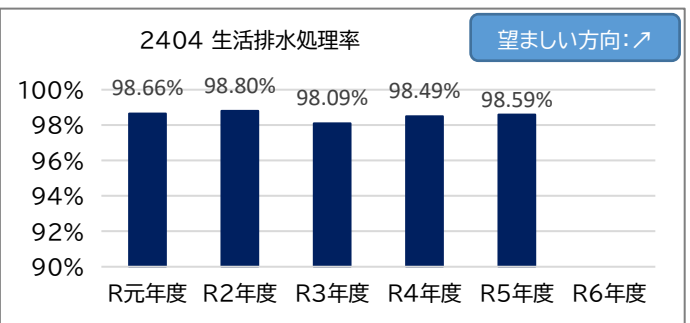
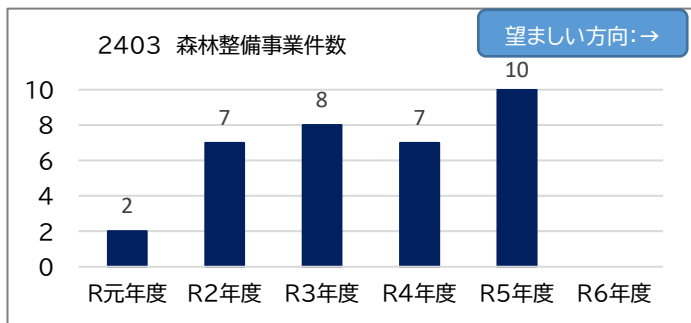
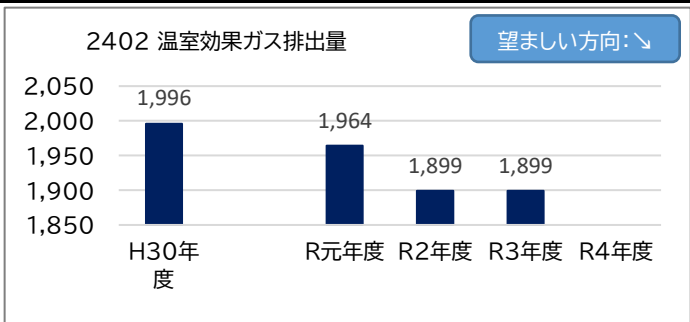
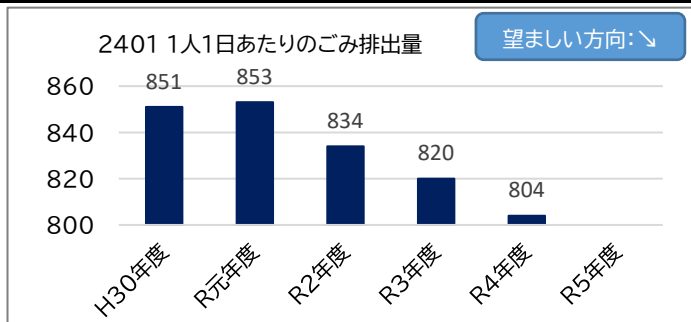
- ① 地球環境に配慮した、持続可能な資源循環型社会づくりを進めています
- ② 豊かな地域の自然環境と生活環境を、次の世代に引き継いでいます
- ③ 地域の、衛生的で良好な水環境をつくっています

該当するSDGs



KPI

2401	1人1日あたりのごみ排出量(グラム)	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
		851	853	834	820	804	
2402	温室効果ガス排出量(千t-CO2)	H30年度		R元年度	R2年度	R3年度	R4年度
		1,996		1,964	1,899	1,899	
2403	森林整備事業件数	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
		2	7	8	7	10	
2404	生活排水処理率	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
		98.66%	98.80%	98.09%	98.49%	98.59%	



主要な事業

- ① 地球環境に配慮した、持続可能な資源循環型社会づくりを進めています

実施年度			対象事業			R7年度対象事業指標		
R7	R8	R9	(上段)事業名称 (下段)指標名	取組No. 指標単位	部 前年度実績	指標目標	中間実績	最終実績
○	○	○	公用車を活用した電気自動車の普及啓発	2411	財務部	20		
			公用電気自動車を活用したEVの普及、啓発活動	回	26			
○	○		地球温暖化対策推進事業	2411	生活環境部	217		
			太陽光発電システム設置、蓄電池システム設置、次世代自動車等購入、脱炭素化設備の導入の補助件数	件	182			
○	○		地球温暖化対策推進事業	2411	生活環境部	575		
			高砂市省エネ家電買替促進事業補助金の補助件数	件	446			

○	○	○	ごみ減量化再資源化対策事業	2412	生活環境部	779		
			1人1日あたりのごみ排出量(暫定値)	グラム	758			
○	○	○	ペットボトルのボトルtoボトルリサイクル事業	2413	生活環境部	80.0		
			ペットボトル資源化量(年間)	トン	86.3			
○	○		廃棄物エネルギーの利用	2415	生活環境部	100		
			地域新電力会社の設立	%	100			

② 豊かな地域の自然環境と生活環境を、次の世代に引き継いでいます

実施年度			対象事業			R7年度対象事業指標		
R7	R8	R9	(上段)事業名称	取組No.	部	指標目標	中間実績	最終実績
			(下段)指標名	指標単位	前年度実績			
○	○	○	林業事業(森林環境整備経費)	2423	生活環境部	20		
			森林整備事業件数	件	16			
○			農業振興事業(地域計画策定事業)	2424	生活環境部	2		
			地域計画策定件数	件	1			
○	○	○	コウノトリの生息環境づくり	2424	上下水道部	100		
			コウノトリの生息環境(ビオトープ、カイボリ等)整備等の人的支援	%	100			

③ 地域の、衛生的で良好な水環境をつくっています

実施年度			対象事業			R7年度対象事業指標		
R7	R8	R9	(上段)事業名称	取組No.	部	指標目標	中間実績	最終実績
			(下段)指標名	指標単位	前年度実績			
○	○	○	浄化槽適正管理の啓発	2433	生活環境部	80		
			法定検査受検率	%	80			

前年度最終評価 「実施したが課題が残っていること、または今後必要な対応」	・地球温暖化対策の補助制度については、3年間を目途に見直しを行うため、令和8年度に制度を見直す。また、ごみ発電によるCO2ゼロの電力を2市2町の公共施設で使用する電力の地産地消を令和8年度から実施していく。 ・指定ごみ袋単価については、定価ではなく各店舗の市場価格となっているため、物価高対策として実施するプレミアム付デジタル商品券事業等に対応していく。
---	--

前年度 審議会評価及び意見	・指定ごみ袋に変わって値段も上がっている。市には、エコクリーンピアはりまの委託料が入っているほか、売電収入がある。子育て世帯、低所得世帯への支援だけでなく、ごみ袋の安価提供など、市民全員に還元してはどうか。 ・調整区域は治水や海洋環境に影響しているため、考慮した上での土地利用の検討が重要である。 ・高砂市にもコウノトリがよく飛来すると聞いている。コウノトリが来る街というのも、大きなブランドになるのではないか。そのために、ため池を含めた生息環境づくりにも取り組んでいただきたい。
--	--

今年度中間評価 実施し、効果があったこと	今年度最終評価 実施し、効果があったこと
実施したが課題が残っていること、または今後必要な対応	実施したが課題が残っていること、または今後必要な対応

審議会評価及び意見

政策評価表

2-5 犯罪・事故・災害から市民を守るまち【防犯・消防・防災政策】

施策の基本的な方向

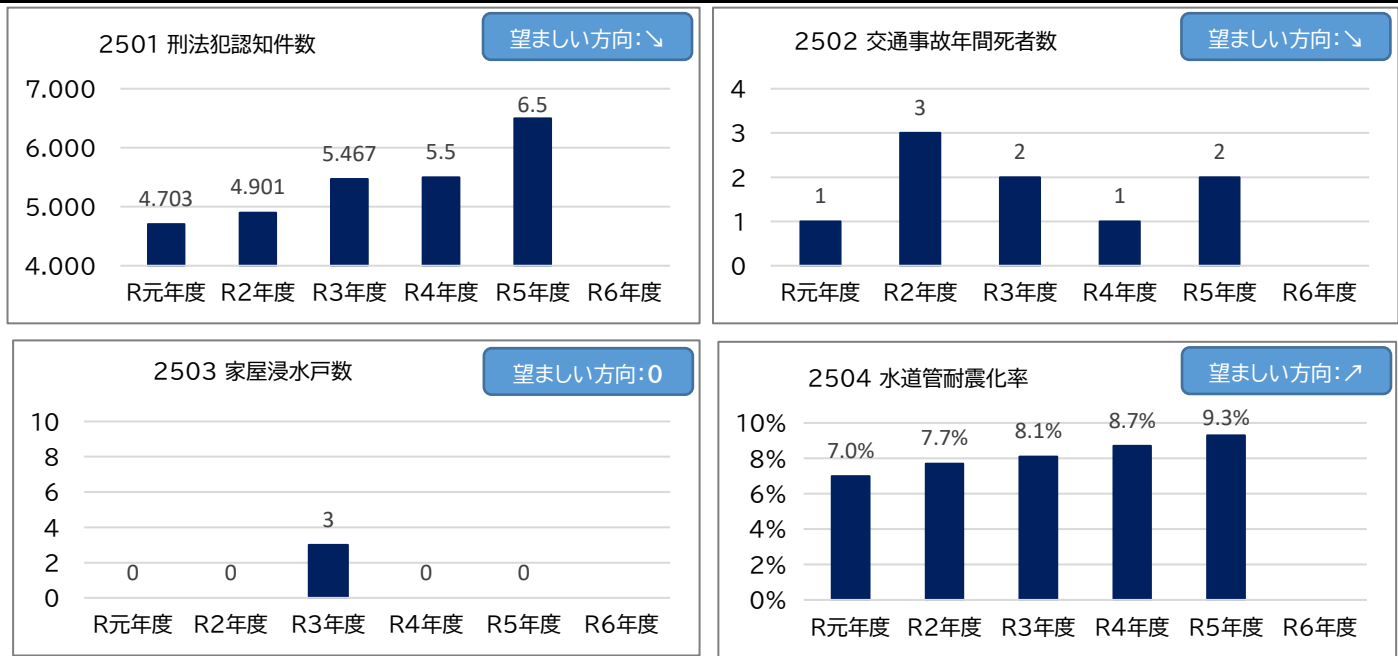
- ① あらゆる犯罪や事故等から市民の生活と財産を守る対策に取り組んでいます
- ② 大雨、高潮、津波、地震等による災害を抑えています
- ③ 大規模自然災害等に対して、復旧、復興の備えができています

該当するSDGs



KPI

2501	刑法犯認知件数(人口千人当たり)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
		4.703	4.901	5.467	5.5	6.5	
2502	交通事故年間死者数	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
		1	3	2	1	2	
2503	家屋浸水戸数	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
		0	0	3	0	0	
2504	水道管耐震化率	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
		7.0%	7.7%	8.1%	8.7%	9.3%	



主要な事業

- ① あらゆる犯罪や事故等から市民の生活と財産を守る対策に取り組んでいます

実施年度			対象事業			R7年度対象事業指標		
R7	R8	R9	(上段)事業名称	取組No.	部	指標目標	中間実績	最終実績
			(下段)指標名	指標単位	前年度実績			
○	○	○	地域見守り活動支援事業	2512	総務部	530		
			見守り活動実施者数	人	552			
○	○	○	交通安全対策事業	2513	都市創造部	87		
			自転車事故件数	件	87			

② 大雨、高潮、津波、地震等による災害を抑えています

実施年度			対象事業	R7年度対象事業指標			
R7	R8	R9	(上段)事業名称 (下段)指標名	取組No. 指標単位	部 前年度実績	指標目標	中間実績 最終実績
○	○	○	ため池管理事業 (水利施設管理強化事業)	2521	上下水道部	21	
			取組実施のため池(指定貯水施設)数	箇所	21		
○			河川改良事業(洪水・高潮対策)	2522	上下水道部	100	
			松村川整備工事の進捗状況	%	100		

③ 大規模自然災害等に対して、復旧、復興の備えができています

実施年度			対象事業	R7年度対象事業指標			
R7	R8	R9	(上段)事業名称 (下段)指標名	取組No. 指標単位	部 前年度実績	指標目標	中間実績 最終実績
○	○	○	災害対応能力の向上	2531	総務部	1	
			総合防災訓練の実施	回	0		
○	○	○	総合防災訓練の充実	2533	総務部	1	
			総合防災訓練の実施	回	0		
○	○	○	消防団活動事業	2534	消防本部	100	
			消防団の体制強化	%	99.5		
○			高機能指令センター総合整備事業	2534	消防本部	100	
			消防救急デジタル無線の更新整備	%	—		
○	○	○	建築物の耐震化	2535	都市創造部	60	
			簡易耐震診断の受診戸数	戸	59		
○			上下水道施設の耐震化(下水道施設)	2536	上下水道部	100	
			耐震工事のための耐震補強設計を実施	%	—		
○	○	○	上下水道施設の耐震化(水道管路)	2536	上下水道部	100	
			配水本管布設替工事及び配水支管布設替工事の年度ごとの進捗管理	%	100		

前年度最終評価 「実施したが課題が残っていること、または今後必要な対応」	・災害に対して、個人が危機感を持つことが重要であるため、防災訓練などによる防災意識の向上について引き続き取り組んでいくとともに、消防団員の確保など体制整備の推進もより必要になる。 ・また、能登地震などの事例を参考にしながら、避難所の環境整備やトイレ対策などに取り組んでいかなければならない。
---	--

前年度 審議会評価及び意見	・能登半島地震への職員の派遣で、学んだことは何か。今後高砂において活かすべき教訓を教えて欲しい。併せて以下の現状についてお聞きしたい。 ・避難所での感染症対策 ・福祉避難所の状況 ・水道管の耐震化率をどのように上げていくのか ・医療的ケア児の市民病院での受け入れ ・避難所がどこにあるのか分からない。避難所の位置や設備などをより整備していく必要があるのではないか。 ・防犯としては、AIやネットワークなど、今よりも高性能で、防犯力が高いカメラを設置することで未然に犯罪を防ぐことに繋がるのではないか。 ・震災からもうすぐ30年になるが、後10年もすれば、大規模災害対応を経験したものがほとんどいなくなる。南海トラフ地震の発生が非常に高いと言われているが、危機感を持ち、正しく恐れることが重要である。 ・見守りカメラを活用し、犯罪を減らし、犯罪がないまち＝住みよい街を進めることが、女性が安心して根づいていくことに繋がる。 ・災害で避難にあったときに行くまでに時間がかかる。荷物を背負った状態での避難検証、備蓄なども含めて現実的な防災を考える必要がある。 ・災害について正しく恐れるという言葉があったが、フェイク情報も多く、メディアが混乱させることも多い。何でもAIや携帯で調べるが、自分でどういうふうなことに着眼して認識していくのか。正しく認識することが重要。 ・自分たちの命は自分たちで守るという前提で、今、地域でハザードマップを作り、配っている。地域で作る良さは、たくさんの人が集まり、話し合いながらしているため現実的なものにしやすいかった。 ・みんな防犯と言っているが、問題になるぐらいの犯罪数が、高砂にあるのか。 ・見守りカメラが今年度から運用されているが、カメラが付いているサインはあるのか。子を持つ世代からすれば、カメラがあるだけで安心感がある。子どもたちが登下校時に何かあった時の抑止力という意味で非常に安心と思っている。 ・稲美町、播磨町ともに、小中学校への体育館へのエアコンの設置は、既定方針になっており、来年度から着手する、或いは着手したいとなっている。子どもの環境的にも異常な暑さが続いており、避難所としての環境整備からも検討した方がいいのではないか。 ・能登の避難所では、間仕切りもなく雑魚寝という問題点があった。避難所に置く、寝具や間仕切り、ベッド等の備えはどうなっているのか。 ・防災は、避難所運営も大事であるが、防災教育も合わせて実施することが必要である。
------------------	---

今年度中間評価	今年度最終評価
実施し、効果があったこと	実施し、効果があったこと
実施したが課題が残っていること、または今後必要な対応	実施したが課題が残っていること、または今後必要な対応

審議会評価及び意見

政策評価表

3-1 誰もが社会に参加し、その人らしく活躍するまち【活躍・労働政策】

施策の基本的な方向

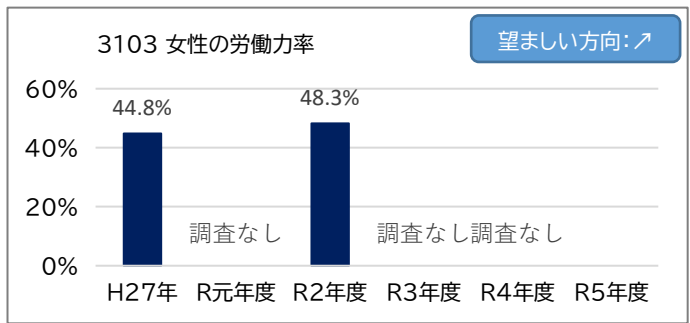
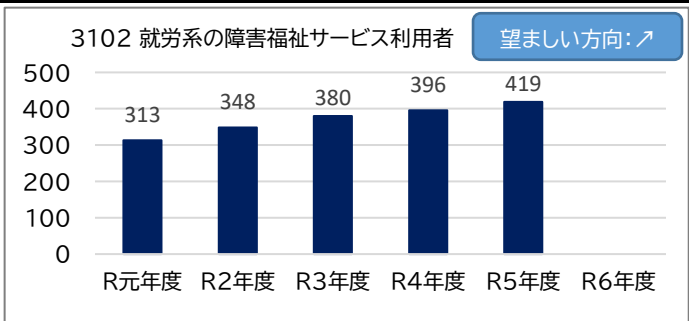
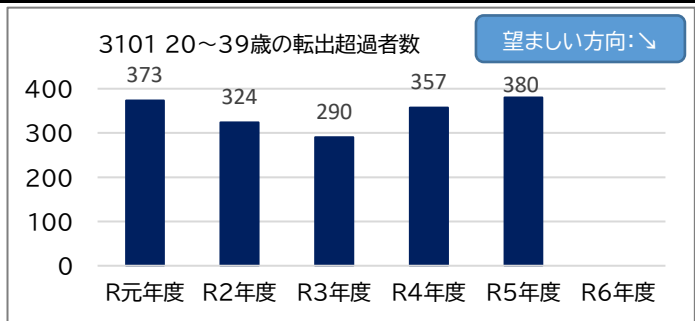
- ① 若者が希望を持ち、楽しみながら個性を活かした多様な活動で活躍しています
- ② すべての人が個性を活かし、多様な働き方及び行動により自己実現しています
- ③ ワークライフバランスを実現し、働きやすい環境が整備されています

該当するSDGs



KPI

3101	20～39歳の転出超過者数	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
		373	324	290	357	380	
3102	就労系の障害福祉サービス利用者数	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
		313	348	380	396	419	
3103	女性の労働力率	H27年	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
		44.8%	調査なし	48.3%	調査なし	調査なし	



主要な事業

- ① 若者が希望を持ち、楽しみながら個性を活かした多様な活動で活躍しています

実施年度			対象事業			R7年度対象事業指標		
R7	R8	R9	(上段)事業名称	取組No.	部	指標目標	中間実績	最終実績
			(下段)指標名	指標単位	前年度実績			
○	○	○	若者施策の推進	3112	政策部	1		
			若者世代との意見聴取の場の回数	回	1			

- ② すべての人が個性を活かし、多様な働き方及び行動により自己実現しています

実施年度			対象事業			R7年度対象事業指標		
R7	R8	R9	(上段)事業名称	取組No.	部	指標目標	中間実績	最終実績
			(下段)指標名	指標単位	前年度実績			
○	○	○	雇用対策の支援	3122	生活環境部	30		
			地元企業合同就職面接会での採用内定者率	%	34.4			
○	○	○	就労系障害福祉サービスの推進	3123	福祉部	5,200		
			就労系の障害福祉サービス延べ利用者	人	5,019			

③ ワークライフバランスを実現し、働きやすい環境が整備されています

実施年度			対象事業	R7年度対象事業指標			
R7	R8	R9	(上段)事業名称 (下段)指標名	取組No. 指標単位	部 前年度実績	指標目標	中間実績
○	○	○	労働環境の改善	3131	生活環境部	1,500	
			中小零細事業所従業員等定期健康診断受診人数	人	1,286		
○	○	○	新しい勤務形態への支援	3132	生活環境部	60	
			マザーズコーナー利用者(高砂市在住者)の就職件数	人	未定		

政策評価

評価者

政策部

部長

前年度最終評価 「実施したが課題が残っていること、または今後必要な対応」	・「高砂市子ども・子育て・若者会議」などへの若者の積極的な参加による意見聴取が進んでいるが、今後も意見を聴取できる機会をつくり、頂いた意見を事業に反映させていく必要がある。
---	--

前年度 審議会評価及び意見	・若者も結構しっかり高砂のことを考えている。小中学校や高校生等の若者の意見・要望を汲み取ってほしいと思う。 ・人手不足、人材開発、働き方改革は一体のものであるが、1企業だけでは困難な部分があるため、行政が連携しないといけない部分もあるのではないかな。
------------------	--

今年度中間評価	今年度最終評価
実施し、効果があったこと	実施し、効果があったこと
実施したが課題が残っていること、または今後必要な対応	実施したが課題が残っていること、または今後必要な対応

審議会評価及び意見

政策評価表

3-2 まちを考え、行動する市民活動があるまち【市民活動政策】

施策の基本的な方向

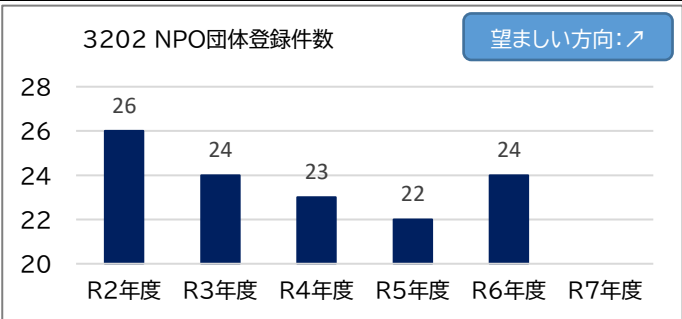
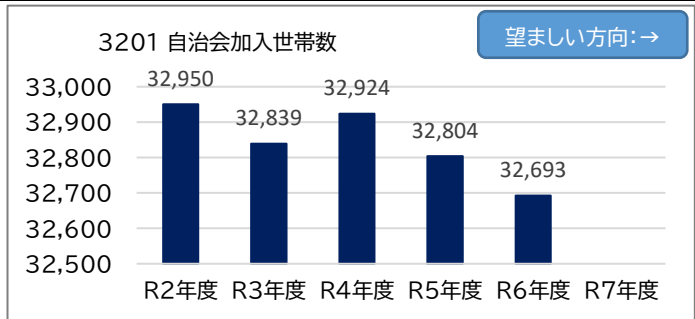
- ① 多様な地域コミュニティ、市民活動の担い手が活躍しています
- ② 自主的な市民の地域活動が持続するよう、行政が支援しています

該当するSDGs



KPI

3201	自治会加入世帯数(年度当初)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		32,950	32,839	32,924	32,804	32,693	
3202	NPO団体登録件数(年度当初)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		26	24	23	22	24	



主要な事業

- ① 多様な地域コミュニティ、市民活動の担い手が活躍しています

実施年度			対象事業			R7年度対象事業指標		
R7	R8	R9	(上段)事業名称 (下段)指標名	取組No. 指標単位	部 前年度実績	指標目標	中間実績	最終実績
○	○	○	補助金交付による自治会の活動支援 令和6年度補助金(単位自治会事業補助金、地区連合自治会活動支援補助金、市連合自治会事業補助金)の交付件数	3211 件	市民部 単位自治会118件 地区連合7件 市連合1件	単位自治会122件 地区連合8件 市連合1件		
○	○	○	地域交流センター運営協議会の活動支援 地域交流センター運営協議会補助金の交付件数	3212 件	市民部 —	8		
○	○	○	地域交流センター整備事業 改修工事件数	3213 件	市民部 —	2		

② 自主的な市民の地域活動が持続するよう、行政が支援しています

実施年度			対象事業	R7年度対象事業指標			
R7	R8	R9	(上段)事業名称 (下段)指標名	取組No. 指標単位	部 前年度実績	指標目標	中間実績 最終実績
○	○	○	市民提案型地域協働推進事業	3221	市民部	9 (設5、地4)	
			令和7年度補助金交付件数(団体設立支援事業、活動団体支援事業及び地域活性化事業)	件	10 (設2、活4、地2、70周年2)		
○	○	○	アダプトプログラム推進事業	3222	市民部	13	
			事業活動団体数	団体	11		
○	○	○	期日前投票環境の確保	3222	選挙管理委員会事務局	2	
			期日前投票所の開設箇所数	箇所	2		
○	○	○	市民顕彰事業	3224	総務部	31	
			市民顕彰表彰者数	名・団体	58		

政策評価

評価者

市民部

部長

前年度最終評価
「実施したが課題が残っていること、または今後必要な対応」

・市民が元気に、幸せに暮らしていくためには、住民同士がつながり、コミュニティを活性化させていくことが、今後ますます重要になる。
・令和6年度には市内8地区すべてに地域交流センター運営協議会を設立し、今後は活動に向けた協議を行っていくが、コミュニティ活動の活性化に向けた取組を推進する必要がある。

前年度
審議会評価及び意見

・市民活動を中心とした交流イベントが活性化し、住民のつながりや生活の活性化に繋げることは、高齢で元気に暮らしていくためにも重要である。
・曾根地域交流センターの共有スペースでは小学生などが集まり、遊んだり活動している。子どもたちが集まれる場所や芝生の整備された公園など、人が集う場所を提供すれば、様々なコミュニティの活性化に繋がるのではないかな。

今年度中間評価

実施し、効果があったこと

今年度最終評価

実施し、効果があったこと

実施したが課題が残っていること、または今後必要な対応

実施したが課題が残っていること、または今後必要な対応

審議会評価及び意見

政策評価表

3-3 愛着と誇りを感じるまち【移住・定住、関係人口政策】

施策の基本的な方向

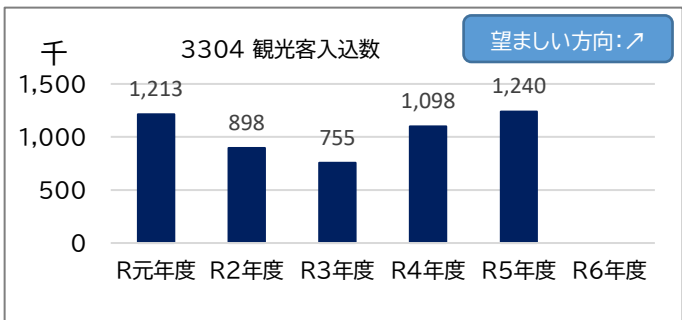
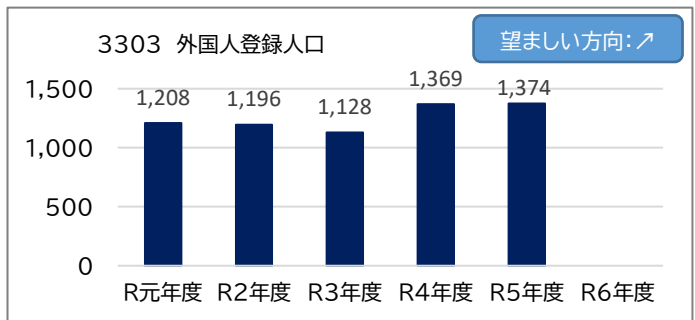
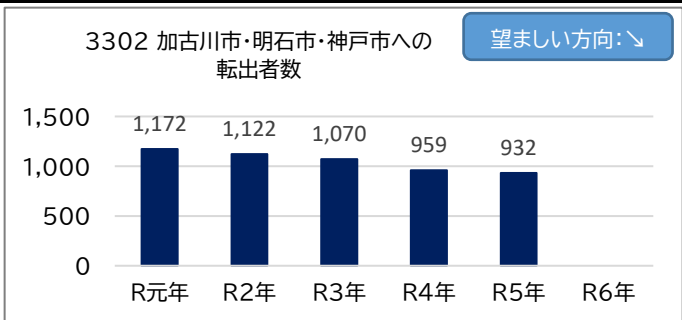
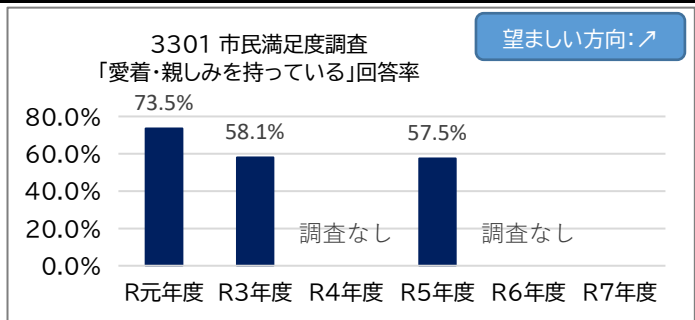
- ① 高砂市の地域資源に魅力を感じ、高砂市を好きな人が増えています
- ② 市外の住民が、地域住民及び地元事業者と良好な関係を築いています

該当するSDGs



KPI

3301	市民満足度調査「愛着・親しみを持っている」回答率	R元年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		73.5%	58.1%	調査なし	57.5%	調査なし	
3302	加古川市・明石市・神戸市への転出者数	R元年	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年
		1,172	1,122	1,070	959	932	
3303	外国人登録人口	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
		1,208	1,196	1,128	1,369	1,374	
3304	観光客入込数	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
		1,213,324	897,620	754,979	1,098,330	1,239,715	



主要な事業

- ① 高砂市の地域資源に魅力を感じ、高砂市を好きな人が増えています

実施年度			対象事業			R7年度対象事業指標		
R7	R8	R9	(上段)事業名称	取組No.	部	指標目標	中間実績	最終実績
			(下段)指標名	指標単位	前年度実績			
○	○	○	移住・定住・促進事業	3313	政策部	1		
			移住支援事業による交付決定	件	1			

- ② 市外の住民が、地域住民及び地元事業者と良好な関係を築いています

実施年度			対象事業			R7年度対象事業指標		
R7	R8	R9	(上段)事業名称	取組No.	部	指標目標	中間実績	最終実績
			(下段)指標名	指標単位	前年度実績			
○	○	○	ふるさと納税の推進	3323	政策部	690,000,000		
			ふるさと寄附金額	円	593,612,000			

前年度最終評価 「実施したが課題が残っていること、または今後必要な対応」	・令和7年度は万博が開催されるため、市内のフィールドパビリオンに合わせて市の魅力をPRしていく。 ・また、市が実施する取組について、市内外を含めた様々な方に発信し、知っていただくことは非常に重要である。ターゲットを把握しながら、適切な媒体での周知を進めていく。
---	---

前年度 審議会評価及び意見	・ひとり暮らしの若者への支援は他の自治体で実施していないため検討するべきでは。仕事の関係で高砂市に来たひとり暮らしがターゲットになると思う。ターゲットが家庭を持って受けられる施策を上手くPRしていくことで定住に繋がるのでは。 ・仕事が大阪で、出て行こうというのが半数、出なくても通えるという人が半数。転出の理由は何なのか。向こうで住んだほうが物価は高く、通った方が安い。時間的な問題なのか。時間を持ちたいのか等、いろんな要因があると思うので、若者を引き止める何かを探っていかないと根本原因が一番重要になると思う。 ・比較的多くの方に住みやすくして便利とうまく伝えていきながら、定住していただき、新しく転入していただく施策が必要でないのかと思っている。またそのあたりについては、行政としても、いろんな施策を打っていただければと思う。 ・映画のロケ地になるなど、観光資源も注目されているが、高砂市は街として、何があるのかと聞かれたときに答えにくい印象を受ける。 ・万博が開催され、関係人口を増やすためにも、観光を軸としたまちづくり、交通政策、住民活躍が必要となってくる。 ・工楽松右衛門旧宅を中心とした周辺のまちづくりをブラッシュアップすることが、関係人口の増大につながり、移住・定住への流れにつながっていく。 ・イベントは出会いの場であり、高砂市には魅力的なイベントが多くある。関係人口を増やすためにも、イベント等を活用しながら高砂市のPR、魅力発信に努めていただきたい。
------------------	---

今年度中間評価	今年度最終評価
実施し、効果があったこと	実施し、効果があったこと
実施したが課題が残っていること、または今後必要な対応	実施したが課題が残っていること、または今後必要な対応

審議会評価及び意見

--

政策評価表

3-4 豊かな生きがいとつながりを感じるまち【文化・スポーツ政策】

施策の基本的な方向

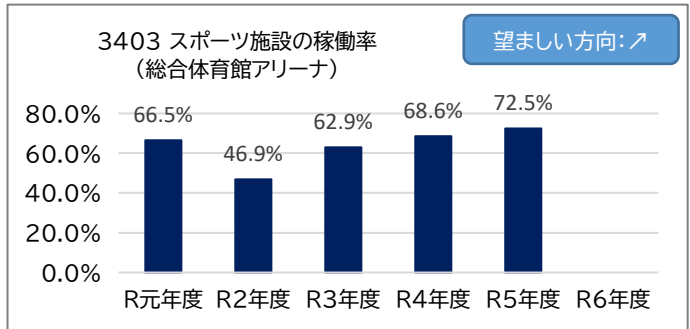
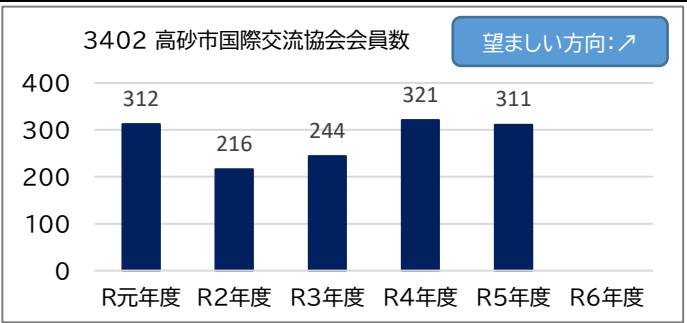
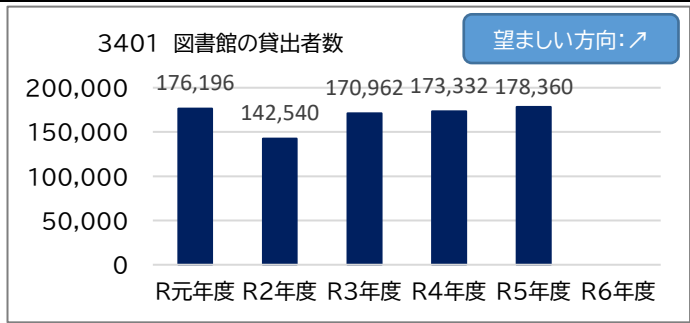
- ① すべての人が自由に学び、一人ひとりが豊かな人間性を育み続けています
- ② 学ぶ人、活躍する人が、社会貢献、社会参画でつながっています

該当するSDGs



KPI

3401	図書館の貸出者数	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
		176,196	142,540	170,962	173,332	178,360	
3402	高砂市国際交流協会会員数(個人・法人・団体)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
		312	216	244	321	311	
3403	スポーツ施設の稼働率(総合体育館アリーナ)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
		66.5%	46.9%	62.9%	68.6%	72.5%	



主要な事業

- ① すべての人が自由に学び、一人ひとりが豊かな人間性を育み続けています

実施年度			対象事業			R7年度対象事業指標		
R7	R8	R9	(上段)事業名称	取組No.	部	指標目標	中間実績	最終実績
			(下段)指標名	指標単位	前年度実績			
○	○		図書館の運営	3412	教育部	179,000		
			図書館の貸出者数	人	178,714			
○	○		市民ニーズに応じた生涯学習の提供	3412	教育部	15		
			各種団体と連携して取り組んだイベント数	件	15			
○	○	○	文化芸術を担う人材育成	3413	健康こども部	12		
			ホールコンサート実施回数	回	11			

○	○	○	文化財の保存及び活用	3414	教育部	3,000		
			文化財イベント参加・施設見学者数	人	3,769			
○			スポーツ施設の整備(高砂市野球場改修工事)	3418	健康こども部	100		
			工事の進捗率	%	—			

② 学ぶ人、活躍する人が、社会貢献、社会参画でつながっています

実施年度			対象事業	R7年度対象事業指標				
R7	R8	R9	(上段)事業名称 (下段)指標名	取組No. 指標単位	部 前年度実績	指標目標	中間実績	最終実績
○	○		社会教育活動支援事業	3421	教育部	3		
			図書館サポーター登録者数	人	1			

政策評価

評価者 健康こども部 部長

前年度最終評価 「実施したが課題が残っていること、または今後必要な対応」	・市民プールについては、廃止を2年間延長している間に水泳機能の代替えを検討するとしており、令和7年度中に室内プールの必要性について検討し、方向性を示すとともに公共施設の全体最適化や市民ニーズ等を踏まえ、民設民営による室内プールの整備に向けた検討を進める必要がある。 ・また、高齢者大学では、講座等について受講者から好評を得ているものの、高齢者の就業様態等の変化から入学者数が減少しており、運営のあり方について、引き続き検討していく必要がある。
---	--

前年度 審議会評価及び意見	・教育を子どもだけに限定するのではなく、デジタルなど、色々学ぶ場を市民に提供すれば、まちはもっと良くなるのでは。 ・地元のことを分かってもらわないと、20代で出て行った人たちが帰ってくることはないと思う。小さい頃からの学習や、学び・成長し続けることができるまちは非常に大事である。 ・政策を進めるにあたって市が所有するあらゆるものを利用するというのは一つの手である。図書館の活用として、情報発信がある。情報発信の内容についても、政策効果等があり、図書館とだけ協議しても進まない場合もあるので、市も協議に加わっていただきたい。
------------------	--

今年度中間評価	今年度最終評価
実施し、効果があったこと	実施し、効果があったこと
実施したが課題が残っていること、または今後必要な対応	実施したが課題が残っていること、または今後必要な対応

審議会評価及び意見

--

政策評価表

4-1 市民が求める能力を持つ人材が育つまち【職員育成政策】

施策の基本的な方向

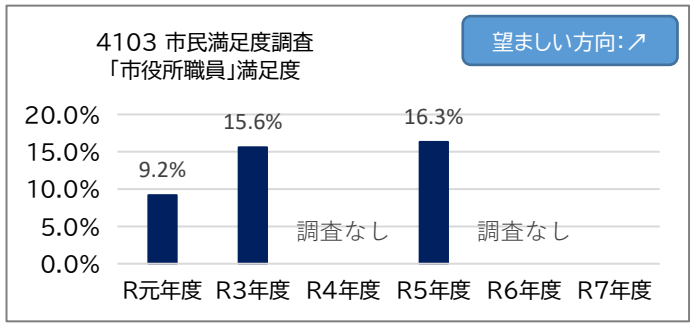
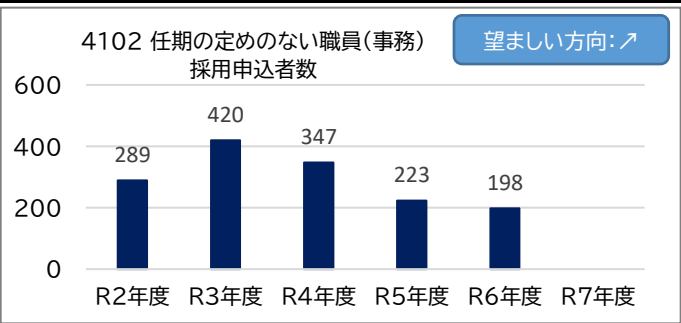
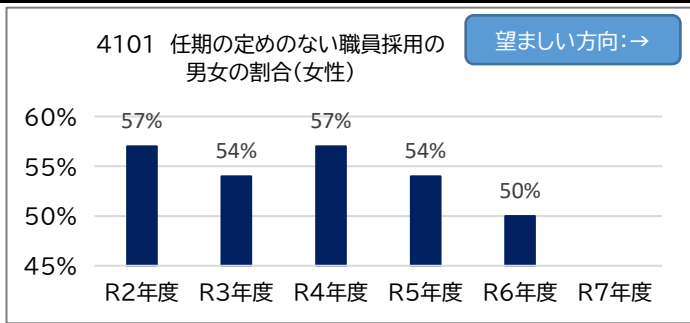
- ① 市民に寄り添い、地域の課題に気づき、自主的に取り組む職員が次々に育っています
- ② 職員が市民の合意形成を支援し、市民主体のまちづくりを推進します
- ③ 行政課題に迅速かつ適切に企画立案を行う職員が、市民サービスを向上させています

該当するSDGs



KPI

4101	任期の定めのない職員採用の男女の割合(女性)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		57%	54%	57%	54%	50%	
4102	任期の定めのない職員(事務)採用申込者数	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		289	420	347	223	198	
4103	市民満足度調査「市役所職員」満足度	R元年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		9.2%	15.6%	調査なし	16.3%	調査なし	



主要な事業

- ① 市民に寄り添い、地域の課題に気づき、自主的に取り組む職員が次々に育っています

実施年度			対象事業			R7年度対象事業指標		
R7	R8	R9	(上段)事業名称 (下段)指標名	取組No. 指標単位	部 前年度実績	指標目標	中間実績	最終実績
○	○	○	時間外縮減 平成28年度の実績値以下に抑制(災害等突発的な業務を除く)	4111 %	総務部 100	100		
○	○	○	人材育成支援システムの活用 人材育成支援システムを活用した人事評価の実施及び各種研修受講履歴の管理	4112 %	総務部 100	100		

② 職員が市民の合意形成を支援し、市民主体のまちづくりを推進します

実施年度			対象事業	R7年度対象事業指標			
R7	R8	R9	(上段)事業名称 (下段)指標名	取組No. 指標単位	部 前年度実績	指標目標	中間実績 最終実績
○	○	○	広聴事業の推進	4121	政策部	180	
			タウンミーティング参加者	人	176		
○	○	○	職員研修の実施	4122	総務部	7	
			庁内組織と共同実施した研修の件数	件	11		

③ 行政課題に迅速かつ適切に企画立案を行う職員が、市民サービスを向上させています

実施年度			対象事業	R7年度対象事業指標			
R7	R8	R9	(上段)事業名称 (下段)指標名	取組No. 指標単位	部 前年度実績	指標目標	中間実績 最終実績
○	○	○	庁内インターンシップ制度による契約・財政事務の研修	4131	財務部	100	
			行政全般をマネジメントできる職員の育成を図るための契約・財政事務の研修	人	67		
○	○	○	市民相談事業(相続・登記相談)	4131	市民部	60	
			相続・登記相談件数	件	—		

前年度最終評価 「実施したが課題が残っていること、または今後必要な対応」	・職員の働き方改革や離職対策などを行い、市民サービスが低下することがないように、引き続き人材育成を図っていく。 ・また、こども基本法の施行に伴い、こども・若者を対象とした意見反映のための効果的な意見聴取について検討する必要がある。
---	--

前年度 審議会評価及び意見	・新規就職就業者の3年以内の離職率が30%を超える状況下で、職員の育成は非常に重要である。若い世代は転職へのハードルが低く、離職対策、或いは、離職した場合の中途補充を併せて考えていかないといけない。 ・市役所組織内の不満やフォロー体制など、エンゲージメント対策により、市民の方への雰囲気に関わっていくと思う。 ・引き継ぎもされていると思うが、人事異動により、これまでの経緯等を最初から説明しないと、いけないケースがあった。人が変わるたびに起こりうるケースなので改善が必要。技術力のスキルアップも大事だが、対応能力のスキルを上げていくことが重要だと思う。 ・政策の進め方として、優先するところが、もしかしたら市民感覚とのずれがあるかもしれないということを認識し、市民の声をしっかりと聴くべきである。 ・雇用や情報発信など、政策を立案するときは、ターゲットを作るほうがいいのではないかな。
------------------	--

今年度中間評価	今年度最終評価
実施し、効果があったこと	実施し、効果があったこと
実施したが課題が残っていること、または今後必要な対応	実施したが課題が残っていること、または今後必要な対応

審議会評価及び意見

--

政策評価表

4-2 つかいたくなる公共施設が気持ちよく利用できるまち【公共施設政策】

施策の基本的な方向

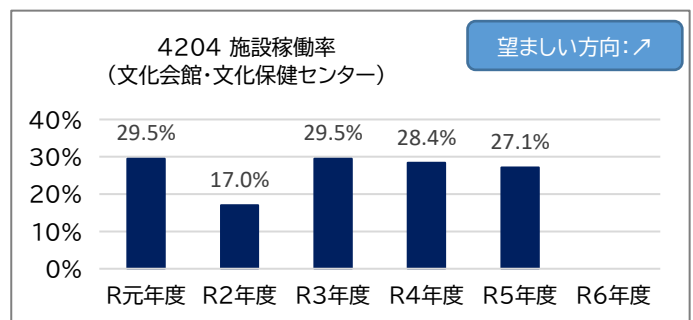
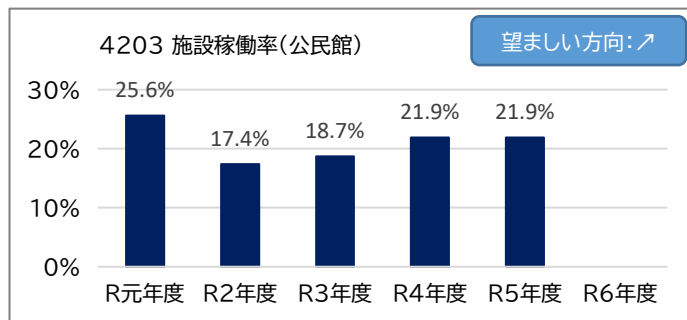
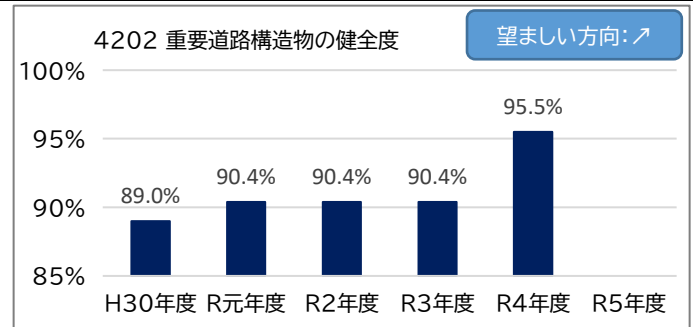
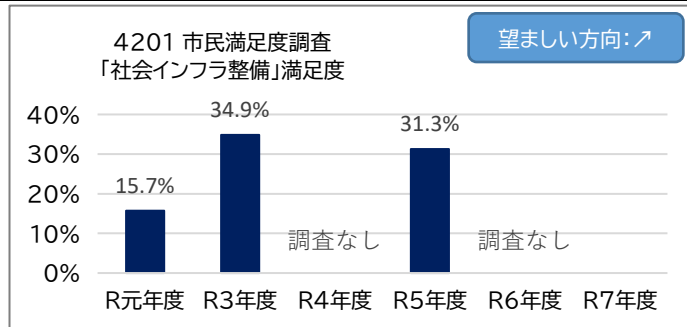
- ① 安全と財政状況を考慮し、計画的に公共施設及び道路の整備を進めています
- ② 省力化と広域化を進め、安心で効率的な上水道及び下水道事業を行っています
- ③ 多様な主体と連携するなど運営を工夫し、市民サービスを向上させています
- ④ すべての人が参加、活動、利用しやすいデザインが導入され、運営されています

該当するSDGs



KPI

4201	市民満足度調査「社会インフラ整備」満足度	R元年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		15.7%	34.9%	調査なし	31.3%	調査なし	
4202	重要道路構造物の健全度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
		89.0%	90.4%	90.4%	90.4%	95.5%	
4203	施設稼働率(公民館)平均	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
		25.6%	17.4%	18.7%	21.9%	21.9%	
4204	施設稼働率(文化会館・文化保健センター)平均	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
		29.5%	17.0%	29.5%	28.4%	27.1%	



主要な事業

- ① 安全と財政状況を考慮し、計画的に公共施設及び道路の整備を進めています

実施年度			対象事業			R7年度対象事業指標		
R7	R8	R9	(上段)事業名称 (下段)指標名	取組No. 指標単位	部 前年度実績	指標目標	中間実績	最終実績
○	○	○	公共施設最適化計画の推進	4211	政策部	3		
			公共施設最適化計画の推進に係る公共施設マネジメント推進庁内委員会の開催	回	3			
○	○	○	斎場火葬炉設備更新工事	4212	生活環境部	100		
			斎場火葬炉設備更新工事の推進	%	100			
○	○	○	播磨臨海地域道路の促進	4214	都市創造部	1		
			播磨臨海地域道路に係る環境アセス説明会の開催	回	0			

○	○	○	連続立体交差推進事業	4215	都市創造部	100		
			連続立体交差事業に関連する駅前広場及び道路等設計委託業務(R7～R9年度)	%	100			

② 省力化と広域化を進め、安心で効率的な上水道及び下水道事業を行っています

実施年度			対象事業	R7年度対象事業指標				
R7	R8	R9	(上段)事業名称 (下段)指標名	取組No. 指標単位	部 前年度実績	指標目標	中間実績	最終実績
○	○	○	米田水源地浄水施設更新工事	4221	上下水道部	16		
			浄水施設更新工事の年度ごとの進捗管理 (R6年度分施工…5%、R7年度施工分…16%、 R8年度施工分…35%、R9年度施工分…44%)	%	5			

③ 多様な主体と連携するなど運営を工夫し、市民サービスを向上させています

実施年度			対象事業	R7年度対象事業指標				
R7	R8	R9	(上段)事業名称 (下段)指標名	取組No. 指標単位	部 前年度実績	指標目標	中間実績	最終実績
○	○	○	公園整備事業	4232	都市創造部	100		
			市ノ池公園研修棟他屋根軒改修工事の実施 あせび児童公園改修工事の実施	%	100			
○	○	○	広域ごみ処理施設の活用	4234	生活環境部	34		
			リサイクル啓発講座の開催	回	34			

④ すべての人が参加、活動、利用しやすいデザインが導入され、運営されています

実施年度			対象事業	R7年度対象事業指標				
R7	R8	R9	(上段)事業名称 (下段)指標名	取組No. 指標単位	部 前年度実績	指標目標	中間実績	最終実績
○	○	○	公共施設における課題整理	4242	政策部	100		
			市有施設 外壁劣化調査計画の作成	%	—			

前年度最終評価 「実施したが課題が残っていること、または今後必要な対応」	・播磨臨海道路の説明会については、市内5箇所に加え、播磨臨海地域道路の沿線自治会等に対し、個別説明会を16回開催し、関係住民及び企業の理解度を深めることができた。
---	--

前年度 審議会評価及び意見	・「播磨臨海地域道路」ルート案については、住宅地や学校への影響が大きいことから不安の声が出ている。「理解促進につなげることができた」と評価しているが、住民の声や、今後の説明等、市はどのように考えているか。 ・福祉総合相談センターのワークショップでは土日の開所に関する意見が多くあった。地域交流センターは土日も開いているので、施設をもっと活用できれば。また、飲食スペースの時間や自動販売機など使いやすい施設を。 ・日本全体が多死社会へ突入していくことを前提とした公共施設の在り方を考える必要がある。また、死亡が増えていくなか火葬の待機などは問題ないか。 ・神戸市では、公園の遊具や道路の破損等をラインで送る通報制度みたいなものがある。市民から情報を集める仕組みづくりを高砂市でも行えばいいのでは。
--------------------------	---

今年度中間評価	今年度最終評価
実施し、効果があったこと	実施し、効果があったこと
実施したが課題が残っていること、または今後必要な対応	実施したが課題が残っていること、または今後必要な対応

審議会評価及び意見

--

政策評価表

4-3 情報の公開と活用が進み、市民サービスが向上するまち【情報政策】

施策の基本的な方向

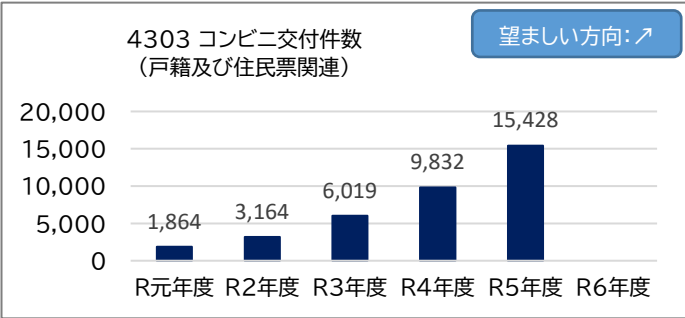
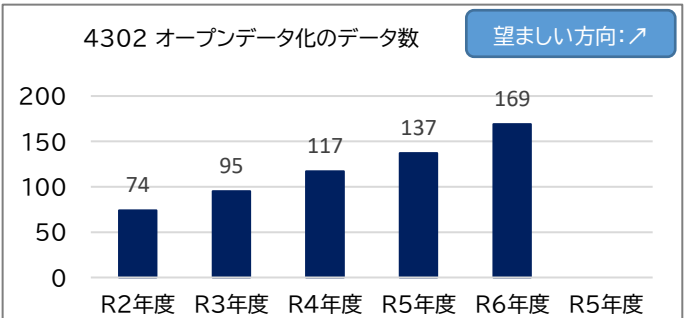
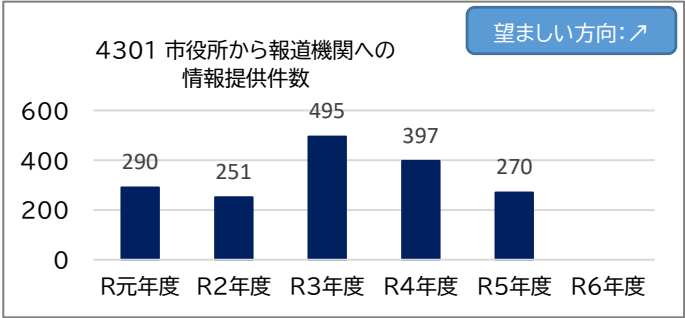
- ① すべての人にわかりやすく、入手しやすい情報公開・提供が進んでいます
- ② 情報技術を活用し、定型的な業務の迅速化に取り組んでいます
- ③ 情報技術革新を市民サービスに反映しています

該当するSDGs



KPI

4301	市役所から報道機関への情報提供件数	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
		290	251	495	397	270	
4302	オープンデータ化のデータ数(年度当初)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R5年度
		74	95	117	137	169	
4303	コンビニ交付件数(戸籍及び住民票関連)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
		1,864	3,164	6,019	9,832	15,428	



主要な事業

- ① すべての人にわかりやすく、入手しやすい情報公開・提供が進んでいます

実施年度			対象事業			R7年度対象事業指標		
R7	R8	R9	(上段)事業名称	取組No.	部	指標目標	中間実績	最終実績
			(下段)指標名	指標単位	前年度実績			
○	○	○	市民に届く、伝わる広報	4311	政策部	6		
			広報たかさごの特集掲載回数	回	3			
○	○	○	災害情報伝達手段の確保	4312	総務部	30		
			防災出前講座の実施回数	回	31			
○	○	○	情報公開の推進	4313	総務部	0		
			情報公開制度における審査請求の件数をゼロにする。	件	1			

② 情報技術を活用し、定型的な業務の迅速化に取り組んでいます

実施年度			対象事業	R7年度対象事業指標				
R7	R8	R9	(上段)事業名称 (下段)指標名	取組No. 指標単位	部 前年度実績	指標目標	中間実績	最終実績
○	○	○	ノーコード・ローコードツールの活用推進	4321	政策部	20		
			汎用データベースツールにより適用した業務数	件	11			
○	○	○	戸籍住民基本台帳事務事業(おくやみコーナー)	4321	市民部	60		
			おくやみコーナー利用率	%	47			
○	○	○	個人情報保護の推進	4322	総務部	0		
			個人情報保護制度における審査請求の件数をゼロにする。	件	0			
○	○	○	文書管理の適正化	4323	総務部	1,302		
			A4コピー用紙の購入量を箱数換算で前年度比10パーセント減らす。	箱	1,860			

③ 情報技術革新を市民サービスに反映しています

実施年度			対象事業			R7年度対象事業指標		
R7	R8	R9	(上段)事業名称 (下段)指標名	取組No. 指標単位	部 前年度実績	指標目標	中間実績	最終実績
○	○	○	デジタル地域ポイント事業	4331	政策部	100		
			デジタル地域ポイント事業に係るプラットフォーム構築	%	—			
○	○	○	データ利活用の推進	4331	政策部	200		
			オープンデータの公開データ数	件	186			
○	○	○	デジタル活用推進事業	4331	政策部	80		
			スマートフォン講習会参加者の満足度	%	73			
○	○	○	行政手続きのオンライン化の推進	4332	政策部	245		
			電子申請対応手続き数	手続	204			
○	○	○	コンビニ交付サービスの利用促進	4332	市民部	21,600		
			コンビニ交付件数	件数	19,723			
○	○	○	マイナンバーカード出張申請受付	4332	市民部	60		
			出張申請回数	回	—			
○	○	○	QRコード決済導入事業	4332	会計課	47		
			公金収納キャッシュレス化比率	%	44.5			
○	○	○	自治体情報システムの標準化・共通化の推進	4333	政策部	3		
			標準準拠システムへの移行業務数	業務	—			

前年度最終評価 「実施したが課題が残っていること、または今後必要な対応」	・審議会の意見にもあるように、年代等により情報を受け取る方法が様々であるため、伝えたいターゲットを明確にし、利用する媒体を検討し発信していくことが重要である。
---	--

前年度 審議会評価及び意見	・企業も市民の方も、情報を入手する手段が非常に難しい。ホームページから知りたい情報に行きつくまでエネルギーがかかるため、重要な課題と感じる。 ・情報発信などは、もう少し何かひと手間かけてほしい。せっかく様々な取組をしているのだから、もったいないと感じる。 ・ホームページを見たら、意外とわかりやすいと思った。だいぶ良くなったかなと思う。 ・市のPRについては、姫路セントラルパークのネガティブなキャンペーンが話題になったように、話題につなげるには様々な方法がある。 ・ICTを活用するのはいいが、そこに100%頼ってしまうと災害等の際に困る。アナログでの手段も必要。 ・市役所では色々な事業を行っているが、我々委員でも、外から見たところでは届いてない。市民の方であれば、もっと知らないかもしれないため、情報の届け方は議論していく余地がある。 ・青年期・壮年期世代への情報発信が重要であるが、どの情報をどのターゲットに発信するのかを工夫する必要がある。
--------------------------	--

今年度中間評価	今年度最終評価
実施し、効果があったこと	実施し、効果があったこと
実施したが課題が残っていること、または今後必要な対応	実施したが課題が残っていること、または今後必要な対応

審議会評価及び意見

--

政策評価表

4-4 人口減少に対応する公正な行財政運営をするまち【行財政運営政策】

施策の基本的な方向

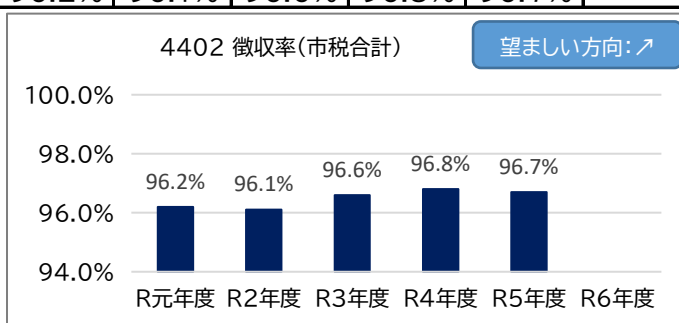
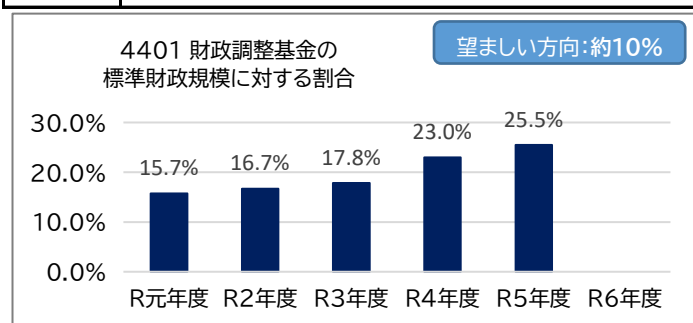
- ① 財源の計画的な執行により、人口減少に対応する健全な行政運営が続いています
- ② 歳入の確保と歳出の抑制に取り組み、経営基盤が安定しています
- ③ 総合計画に基づき運営し、持続可能で適正な事務を執行しています

該当するSDGs



KPI

4401	財政調整基金の標準財政規模に対する割合	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
		15.7%	16.7%	17.8%	23.0%	25.5%	
4402	徴収率(市税合計)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
		96.2%	96.1%	96.6%	96.8%	96.7%	



主要な事業

- ① 財源の計画的な執行により、人口減少に対応する健全な行政運営が続いています

実施年度			対象事業			R7年度対象事業指標		
R7	R8	R9	(上段)事業名称	取組No.	部	指標目標	中間実績	最終実績
			(下段)指標名	指標単位	前年度実績			
○	○	○	持続可能な財政運営のための予算編成	4411	財務部	40以上		
			財政調整基金残高 減債基金残高	億円	63			

- ② 歳入の確保と歳出の抑制に取り組み、経営基盤が安定しています

実施年度			対象事業			R7年度対象事業指標		
R7	R8	R9	(上段)事業名称	取組No.	部	指標目標	中間実績	最終実績
			(下段)指標名	指標単位	前年度実績			
○	○	○	市税徴収事務事業 (公平・公正な税務行政の実現)	4422	財務部	96.8		
			徴収率(市税合計)	%	96.7 (4月末)			
○	○	○	債権管理事務事業 (債権回収の指導・強化)	4422	財務部	4		
			四半期ごとの債権担当ヒアリング実施	回	4			
○	○	○	市有財産の売却及び利活用	4423	財務部	5		
			市有財産を一般競争入札等により売却	件	6			

③ 総合計画に基づき運営し、持続可能で適正な事務を執行しています

実施年度			対象事業	R7年度対象事業指標				
R7	R8	R9	(上段)事業名称 (下段)指標名	取組No. 指標単位	部 前年度実績	指標目標	中間実績	最終実績
○	○	○	企業版ふるさと納税の推進	4433	政策部	2		
			企業版ふるさと寄附金 件数	件	3			
○	○	○	SDGsの普及促進	4433	政策部	12		
			SDGsに関する情報発信を行った回数 (SNS投稿件数)	回	16			
○	○	○	業務継続計画に関する研修の実施	4434	総務部	1		
			業務継続計画に関する研修の実施	回	2			
○			第5次高砂市総合計画 後期基本計画の策定	4435	政策部	100		
			計画策定の進捗率	%	—			
○			内部統制制度構築事業	4435	総務部	2		
			内部統制制度の導入、実施に必要な体制、必要な文書等の検討を行うため、庁内検討委員会を実施する。	回	1			

前年度最終評価 「実施したが課題が残っていること、または今後必要な対応」	・審議会の意見にもあるように、様々な課題を複合的に解決するなど、効率的な財政運営を行うことにより、財政の持続性を担保していく必要がある。
---	---

前年度 審議会評価及び意見	・持続可能な行政運営、市のPRをするためにも高砂市ここにありとはっきりと挙げる必要があるのではないか。 ・人口減少に歯止めがかからない中で、コンパクトシティ推進への方向づけを実施していかないといけない。 ・計画においては、政策目標と実践との関わりが重要となるが。実践では、PDCAのチェックの部分が各事業において大事である。 ・政策を絞るなど取捨選択をし、次の世代へ借金の先送りにならないようにしていただきたい。 ・学校体育館のエアコン設置は、教育上だけでなく災害時にも役立つことから、1つの政策で複数の目的を持たすことにより財政効率が上がる。
--------------------------	---

今年度中間評価	今年度最終評価
実施し、効果があったこと	実施し、効果があったこと
実施したが課題が残っていること、または今後必要な対応	実施したが課題が残っていること、または今後必要な対応

審議会評価及び意見

--